

科目名 Subject	美術材料学 Workshop of Materials for Beauty		教員名	栗本 佳典	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	<p>描画に用いられる各種の材料・画材の基本的な性質を、演習を通して理解します。 鉛筆、パステル、ペン、水彩絵の具などを使用し、それぞれの材料による幅広い表現技法を学びます。</p>				
授業の目標	<p>さまざまな画材の基本的な特性を理解し、それらを使って実際に作品を制作することによって表現力を高め、美術に関する知識の幅を広げる。 また、新しい木版画技法であるマチエール版画を理解することによって間接表現を知り、美術表現の幅を広げる。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>月に一回程度、美術館等で幅広いジャンルの作品を鑑賞し、さまざまな美術材料や技法について研究してください。</p>				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	画材大全（美術出版社）			
評価方法	<p>材料や技法の理解度 20% 課題に取り組む姿勢 50% 課題作品の完成度 30%</p>				
	<p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
履修上の注意					
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション 顔料とメディウムの関係	さまざまな描画材料の種類や性質を知る。	スケッチブック使用
第2回	水彩表現	水彩絵の具の特性を知り、色彩表現を身につける。	スケッチブック使用
第3回	コンテによる人物描写①	コンテの特徴や描画方法を知る。	色画用紙使用
第4回	コンテによる人物描写②	コンテを使い、明暗を意識して人物の顔を正確に描く力を身につける。	色画用紙使用
第5回	コンテによる人物描写②	コンテを使い、明暗を意識して人物の顔を正確に描く力を身につける。	色画用紙使用
第6回	ペン画①	ペンによる点描や線描の表現方法を知る。	B3 ボード使用
第7回	ペン画②	ペンによる点描や線描をおこなうことにより、絵画表現の幅を広げる。	B3 ボード使用
第8回	ペン画②	ペンによる点描や線描をおこなうことにより、絵画表現の幅を広げる。	B3 ボード使用
第9回	木版画マチエール技法①	版木に凹凸をつけるマチエール版画の表現法を知る。	版木、版画用紙使用
第10回	木版画マチエール技法②	マチエール版画を制作することで間接表現の魅力を知る。	版木、版画用紙使用
第11回	木版画マチエール技法②	マチエール版画を制作することで間接表現の魅力を知る。	版木、版画用紙使用
第12回	色鉛筆による人物画①	人物の年齢や表情などの特徴を観察し、形、明暗、色彩をとらえる。	B3 ボード使用
第13回	色鉛筆による人物画②	人物の特徴を観察し、形、明暗、色彩をとらえ表現できる力を身につける。	B3 ボード使用
第14回	色鉛筆による人物画②	人物の特徴を観察し、形、明暗、色彩をとらえ表現できる力を身につける。	B3 ボード使用
第15回	講評会	制作した作品をふり返ることにより、各材料による表現の特性を再度理解する。	

科目名 Subject	日本・東洋美術史 History of Japanese and Oriental Art		教員名	永田 真紀	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
科目の概要	<p>「日本文化とは何か」を考える上で、東アジアの美術と日本の美術を総合的に学んでいく。歴史を紐解きながら、書画・宗教・文学・茶の湯・芸能など、さまざまな視座から日本文化の本質を深く掘り下げる。グローバリズムとローカリズムを捉えながら、自らの文化を自らの言葉で語ることを目指す。また、美しく豊かな人生を生きるための教養として、文化・芸術の幅広い知識を身につけ、その魅力を知り、生涯にわたって芸術を楽しめるような講義内容となっている。</p>				
授業の目標	<p>東アジアの文化や芸術について全体像を把握する。日本特有の美術、中国や朝鮮半島と共通する美術を理解し、グローバリズムとローカリズムを考える。自らの言葉で、自らの見解を述べることで、他者に東アジアの美術の特徴と魅力を紹介できるようになることを目標とする。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>授業内で扱った各項目について、配布したレジュメを参考に 60 分程度の復習を必要とします。内容について自らの見解をまとめ、特に関心を持ったことについては、授業内で提示した方法で「調べて、考える」ことを通じて理解を深めること。</p>				
教科書・教材	教科書	特になし（授業でレジュメを配布）			
	教材	特になし			
	使用設備・備品	パソコン、プロジェクター			
	参考文献	必要な場合は、適宜、授業の中で紹介します。			
評価方法	平常点 50%、期末レポート 50%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	<p>毎回、授業の内容を要約したレジュメを配布します。予習・復習及び、期末レポートの作成に必要となります。</p>				
本科目履修と関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	ガイダンス～日本文化の特質	「日本的」とは何か。和漢、和洋の構造で文化の本質を理解する。	今後の授業をしっかりと理解するため、テーマを明確にしておくこと。
第2回	原始の美術 アニミズム	原始の造形表現から、想像力や美意識、アニミズムについて考える。	原始の美術から伺える当時の生活や死生観を考えること。
第3回	仏教美術	仏教伝来による社会の変化、文化の進展を知り、仏像や寺院建築の美について学ぶ。	仏教の概略を理解し、社会に及ぼした影響や、仏像や絵画の技の美を復習しておくこと。
第4回	絵巻に描かれた物語	物語の絵画化について考察する。絵巻という長大なメディアを活かした表現方法を学ぶ。	アニメの源流とも言うべき絵巻の特徴を復習し、現代の映像作品やマンガとの連関を考えること。
第5回	禅を知る 寺社を訪ねる	禅とは何か、どういう美術があるのか、体系的に理解する。	禅の基本事項を理解し、建築や美術など、興味を持った事項について調べてみる。
第6回	室町時代の唐物趣味～南宋の絵画・工芸～	唐物趣味の室町時代。将軍家のコレクションを中心に請来された中国美術について学ぶ。	請来された中国や朝鮮半島の美術について理解を深める。東アジアに通じる美術について考える。
第7回	水墨の技と美～如拙・周文・雪舟～	詩画軸の基本から、画題や技法、水墨の名品まで総合的に理解する。	授業の内容を復習し、水墨という芸術の可能性について考えること。
第8回	茶の湯の美術	総合芸術とも称される茶の湯。歴史、建築、道具など全般的に理解する。	概要を復習し、文化としての茶の湯を総括すること。
第9回	サムライのファッション～変わり兜・刀など～	武士の装身具の意匠性を見て、流行や特徴を知る。芸術としての粋を感じる。	多様な意匠からわかる武士の様相をまとめること。
第10回	江戸時代のリアリティ表現	アジアの絵画技法におけるリアリティ表現を学び、西洋との相違を理解する。	さまざまなリアリティ表現の差異と特徴を復習すること。関心を持った作品を調べる。
第11回	江戸時代の奇想の画家～伊藤若冲と曾我蕭白～	奇想の画家として知られる若冲と蕭白の造形美を、技法や制作背景から探る。	興味を持った作品について、自分で調べてまとめる。
第12回	琳派の造形美～宗達・光琳から現代まで～	宗達・光琳から現代に至るまで、絵画や工芸、デザインなど琳派の芸術を知る。	授業の内容を復習し、現代における琳派の影響を考える。
第13回	浮世絵と出版文化	浮世絵の成立や制作過程、流行や技法を学び、表現の醍醐味を考える。	浮世絵を通じて垣間見た江戸時代の日常生活や風俗を理解する。
第14回	ジャポニスム	西欧におこった日本ブーム、ジャポニスム。影響を与えた日本美術と感応された西洋美術を見て考える。	美術における日本と西欧諸国の影響関係を復習すること。
第15回	まとめ	講義の総括。日本と東アジアの美術について、各人で見解をまとめて発表する。	これまでの授業を総括して、日本や東アジアの美術をまとめること。

科目名 Subject	西洋美術史 History of Western Art		教員名	伊藤 淳	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	<p>世界は今、各地で様々な問題を抱えながら急激な発展、変化をしています。そうした地域の問題を理解するには、背景となっている歴史を知ることが必要不可欠です。この授業では、西洋美術という切り口で、各時代の文化、風土、政治などを紹介し、人類が制作してきた美的遺産を総合的に見ていきます。また美術作品を鑑賞する上で必要かつ基本的な知識や事柄があります。特に西洋美術には様々な「約束事」がありますので、複数の関連する絵画、彫刻などの作品を交えながら美術解説を進めていきます。勿論、美術は理論だけでなくむしろ感性にも大きく関わる分野なので、学生との活発な意見交換をしながら理解を深めていきます。授業形式として効率よく学習するために、最初に前週に行った授業の再確認をし、その後でその週の授業内容をプロジェクター映像で見ていきます。またこの授業と併せて「日本・東洋美術史」や「批評概論」を受講し、世界全体の美的概観を捉えることが望ましい。</p>				
授業の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人にとって美とは何かを西洋美術を通して理解することができる。 2. 西洋の歴史、文化、風習に関係する美術作品の鑑賞の基礎力が習得できる。 3. 西洋美術の主題(宗教・神話など)とそこに登場する定型物の意味の基礎知識が習得できる。 4. 西洋の美術作品に登場する代表的な寓意物の基礎知識が習得できる。 5. 美術館、博物館などで行われている展覧会に実際に訪れて、展示されている美術作品の初歩的な解説と批評能力が習得できる。 				
時間外学習 (予習・復習)	<p>(予習) 次回の授業内容に関わる専門書や映像などを調べて、その内容を把握すること。また美的価値観を刺激するためにも日頃から広く日本や西洋の美術作品や文化に触れてみる。こと。(10.5時間)</p> <p>(復習) 授業で行われた内容を専門書や映像などで再確認すること。そして実際に美術館や博物館を訪れて作品を鑑賞し、その後、関連する美術の解説書などで知識を深め、ものの見方を訓練すること。(10.5時間)</p>				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	なし			
	使用設備・備品	プロジェクター			
	参考文献	『キリスト教絵画の見かた』千足伸行 東京美術 2005年			
評価方法	授業における発言などの学習意欲(50%)、最後に行われる筆記試験(50%)で総合的に判断します。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	毎回、筆記用具は必需品です。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	○西洋における美とは ○西洋美術の見方	日本美術と西洋美術の特徴を理解する。	(予習)「モナリザ」について調べてくること。(45分) (復習)西洋と日本の美術について比較してみる。(45分)
第2回	○古代エジプト美術 ○エーゲ美術	古代エジプトの思想と当時の人生の美的生き方を理解する。	(予習)古代エジプトについて調べてくること。(45分) (復習)古代エジプトの死生観を確認する。(45分)
第3回	○古代ギリシャ美術	古代ギリシャ芸術のプロポーションを理解する。	(予習)古代ギリシャについて調べてくること。(45分) (復習)古代ギリシャの美的基準を確認する。(45分)
第4回	○古代ローマ美術	古代ローマ建築と生活様式を理解する。	(予習)古代ローマについて調べてくること。(45分) (復習)古代ローマの風習を確認する。(45分)
第5回	○初期キリスト教美術	新約聖書の物語を理解する。	(予習)参考文献について調べてくること。(45分) (復習)キリストの話の流れを確認する。(45分)
第6回	○ビザンチン美術	モザイクの光沢美を感じることが出来るようになる。	(予習)ビザンチンについて調べてくること。(45分) (復習)モザイクの仕組みを確認する。(45分)
第7回	○ロマネスク美術	修道院生活における美術を理解する。	(予習)キリスト教について調べてくること。(45分) (復習)修道院の役割を確認する。(45分)
第8回	○ゴシック美術	中世の建築技術を理解する。	(予習)中世建築について調べてくること。(45分) (復習)ゴシック建築の仕組みを確認する。(45分)
第9回	○初期ルネサンス	遠近法の空間と人体表現を理解する。	(予習)ルネサンスの意味を調べてくること。(45分) (復習)美術とパトロンを確認する。(45分)
第10回	○盛期ルネサンス ○マニエリスム	レオナルドなどのルネサンス三大巨匠の特徴を理解する。	(予習)三大巨匠について調べてくること。(45分) (復習)天才の概念を確認する。(45分)
第11回	○バロック美術	光と闇の演出を感じることが出来るようになる。	(予習)明暗法について調べてくること。(45分) (復習)フェルメール作品を確認する。(45分)
第12回	○ロココ美術	フランスの宮廷美を理解する。	(予習)ヴェルサイユ宮殿を調べてくること。(45分) (復習)ロカイユの意味を確認する。(45分)
第13回	○新古典主義 ○ロマン主義	古典美の復活とその反動を理解する。	(予習)フランス革命について調べてくること。(45分) (復習)ナポレオンに関する作品を確認する。(45分)
第14回	○印象派・後期印象派	近代都市の発展と美的価値の変化を理解する。	(予習)印象派の画家について調べてくること。(45分) (復習)写真が起こした影響を確認する。(45分)
第15回	○まとめ	西洋美術史の全体を通して多角的な人生の美を理解する。	(予習)今までの授業内容について見直すこと。(45分) (復習)西洋美術の概観を押さえる。(45分)

科目名 Subject	商品開発研究 Study for Innovation of Merchandise		教員名	小野田 光伸	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	2
必修/選択	選択	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
科目の概要	ヘアスタイリストとしてのシャンプー剤の基礎をより深く身に付ける。 シャンプー剤制作会社と共同し、美容短大オリジナルシャンプー剤の開発、パッケージのデザイン。 最終的に販売まで視野に入れて製品化する。 幅広い年代の方に向けての製品化。 授業を通じて美齢学の理解を深める。				
授業の目標	シャンプー剤の制作をすることにより、髪や頭皮の理論、シャンプー成分などのケミカルについて学び、洗浄成分、保湿成分等数々の成分を調べ、分析することで、幅広い知識を学ぶ。また、販売まで視野に入れることで、パッケージデザイン、流通価格の相場などや商品化されるまでの経過を体験し知る。 幅広い知識を学び、老若男女問わず対応できる知識・応用力をつけ、美齢学に取り組む知識を得る。				
時間外学習 (予習・復習)	美容の最新技術・知識を把握する。 授業内容を図なども加えてノートに分かりやすくまとめプレゼンできるようにする。(想定時間：概ね一時間) サンプルを使用し、使用感などをノートに書き出す。				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	なし			
	使用設備・備品	美容室・シャンプー室使用			
	参考文献	化粧品内容成分由来事典。化粧品毒性判断事典			
評価方法	授業態度などの平常点・技術試験・提出課題での評価 「平常点 80%課題 20%」				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	美容理論を学ぶにあたり、遅刻、欠席はスキルアップに支障が出る為原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退室等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。				
本科目履修と関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	毛髪、頭皮理論について学ぶ。	より深い毛髪や頭皮の理論や知識を習得する。	
第2回	ケミカル理論について学ぶ。	より深いケミカルの知識を習得する。	
第3回	シャンプー成分などについて学ぶ。	より深いシャンプー成分などの知識を習得する。	
第4回	製作者から基本的なレクチャーを受ける	シャンプー剤製作のポイントや注意・進行工程を学ぶ。	
第5回	現存、市販されているシャンプーの中から主だった洗浄成分を調べ、研究検討	洗浄剤によってシャンプー剤の性質を見極める。	
第6回	シャンプー製造・販売メーカーA社からシャンプー剤を学ぶ。	どのような目的でシャンプーを製造・販売しているかを学び、読み取る。	
第7回	サンプル①発注 予算などから主な洗浄成分、保湿成分などを決める。	成分の単価を知り、製作のまとめ方・配合を学ぶ。	
第8回	シャンプー製造・販売メーカーB社からシャンプー剤を学ぶ。	どのような目的でシャンプーを製造・販売しているかを学び、読み取る。	
第9回	サンプル①テスト。 モニターを使い検討する。 サンプル②発注	出来上がったサンプル①を使用し、配合の見直し・決定。	
第10回	ビーカーワーク ビーカーを用い実際にシャンプー剤を製作。	実際にシャンプー剤を製作し、製作のポイントや注意・進行工程を学ぶ。	
第11回	サンプル②テスト。 モニターを使い検討する。 サンプル発注③	出来上がったサンプル②を使用し、配合の見直し・決定。	
第12回	流通、マーケティングなどを学ぶ。	製品販売におけるマーケティングの重要性を学ぶ。	
第13回	サンプル③テスト。 モニターを使い検討する。 最終製品の発注。	出来上がったサンプル③を使用し、配合の見直しを研究検討する。 最終製品を発注する。	
第14回	パッケージデザイン、容器、ネーミングを決める。	使い勝手、印象、イメージ効果を学ぶ。	
第15回	製作者から最終的なアドバイスを受け、授業を振り返る。	経験したことや、学んだ知識を確認する。	

科目名 Subject	平面造形演習 I Two Dimensional Art Work I		教員名	栗本 佳典	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	<p>表現力や造形力の土台となる基本的なデッサンをはじめ、自ら画面構成を考える応用デッサンを行います。</p> <p>また、平面造形にとって大切な明暗表現や色彩表現などの演習も行います。</p>				
授業の目標	<p>物の形やバランス、量感、質感などを客観的に正しく把握すると同時に、画面全体と部分との関係、画面構成などを考える力を養う。</p> <p>また、様々な描写技法により画面を作り上げる力を身につける。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>月に一回は展覧会を見に行き、過去から現代までの優れた絵画作品を数多く鑑賞し、その表現内容や表現方法について研究して下さい。</p>				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	デッサン室			
	参考文献				
評価方法	<p>表現方法の理解度 20% 課題に取り組む姿勢 50% 課題作品の完成度 30%</p>				
	<p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
履修上の注意					
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション	学位取得に向け、作品制作における意義を理解する。	
第2回	基礎デッサン①	形や明暗、質感を捉え表現する方法を確認する。	
第3回	基礎デッサン②	形や明暗、質感を捉え表現する方法を確認しながら画面を仕上げる。	
第4回	自動描写と彩色	無意識による制作を行うことで作品の幅が広がることを知る。	
第5回	キュビズム的デッサン①	キュビズム的デッサンの手法を知る。	
第6回	キュビズム的デッサ②	画面を分割し、画面上で構成できる力を身につける。	
第7回	キュビズム的デッサン③	構成したものをバランスを考えて画面作り上げる力を身につける。	
第8回	キュビズム的デッサン③	構成したものをバランスを考えて画面作り上げる力を身につける。	
第9回	キュビズム的デッサン③	構成したものをバランスを考えて画面作り上げる力を身につける。	
第10回	名画のコラージュデッサン①	過去の名作をもとに画面構成する方法を知る。	
第11回	名画のコラージュデッサン②	名作をもとにアレンジする力や発想力を養う。	
第12回	名画のコラージュデッサン③	画面構成力や応用力、発想力、表現力を養う。	
第13回	名画のコラージュデッサン③	画面構成力や応用力、発想力、表現力を養う。	
第14回	名画のコラージュデッサン③	画面構成力や応用力、発想力、表現力を養う。	
第15回	講評会	自分が制作した作品を他人に説明できる力を身につける。	

科目名 Subject	平面造形演習Ⅱ Two Dimensional Art WorkⅡ		教員名	栗本 佳典	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	<p>学士（芸術学）取得のために必要となる、「自分の考えで作品を作り上げる」ことを意識しながら授業を進めます。 おもに、油絵具やアクリル絵具を用いて平面作品の制作を行います。</p>				
授業の目標	<p>油絵具やアクリル絵具の特性を良く知り、使いこなせる技術を身につける。 特に色や明暗の出し方を修練し、絵画表現の世界を深く豊かなものにします。 また、妥協することなく完成度の高い作品を作り上げる精神力を養います。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>さまざまな作家の画集を鑑賞し、すぐれた絵画作品における作家独自の技術や表現方法を知ってください。 また、展覧会などで絵画作品を数多く鑑賞し、その表現内容や表現方法について研究して下さい。</p>				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	<p>材料や技法の理解度 20% 課題に取り組む姿勢 50% 課題作品の完成度 30%</p>				
	<p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
履修上の注意					
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	人物画の油彩模写	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現する	
第2回	人物画の油彩模写	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現する	
第3回	人物画の油彩模写	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現する	
第4回	人物画の油彩模写	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現する	
第5回	人物画の油彩模写	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現する	
第6回	人物画の油彩模写	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現する	
第7回	人物画の油彩模写	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現する	
第8回	人物画の油彩模写	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現する	
第9回	アクリル画（自由課題）	形や構図、明暗や色彩の調和などに注意しながらアクリル絵具で自由に表現する	
第10回	アクリル画（自由課題）	形や構図、明暗や色彩の調和などに注意しながらアクリル絵具で自由に表現する	
第11回	アクリル画（自由課題）	形や構図、明暗や色彩の調和などに注意しながらアクリル絵具で自由に表現する	
第12回	アクリル画（自由課題）	形や構図、明暗や色彩の調和などに注意しながらアクリル絵具で自由に表現する	
第13回	アクリル画（自由課題）	形や構図、明暗や色彩の調和などに注意しながらアクリル絵具で自由に表現する	
第14回	アクリル画（自由課題）	形や構図、明暗や色彩の調和などに注意しながらアクリル絵具で自由に表現する	
第15回	アクリル画（自由課題）	形や構図、明暗や色彩の調和などに注意しながらアクリル絵具で自由に表現する	

科目名 Subject	立体造形演習 I Three Dimensional Art Work I		教員名	大須賀 万里子	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	立体制作の基礎を学ぶため、多種多様な教材や素材を用いそれらの特質と加工方法を習得する。複数の課題を制作し作品鑑賞や批評会を行ないながら修了研究へつなげていく。さらに美術関連科目それぞれの技法を使用する必要もあり美術を広い視野で体験する。				
授業の目標	平面と立体空間の造形上の仕組みを理解し、自分の思うとおりの作品を創れるようになる。そのために用いる素材の知識、技法、形体、色彩、質感、などの基本を知り、表現の世界を広める。さらに異なる素材を扱うことで、それぞれの作品の違いの面白さ、新鮮さ、ユニークさ等を知り造形の楽しさを知る。造形の美的知識や加工技術を学びこれらを美容に応用、自分をより豊かに美しくしたい。				
時間外学習 (予習・復習)	実技には、予習・復習を行なうことが必要である。授業毎に必要な予習と復習を90分～120分を行なうこと。内容についてはその都度指示する。その他美術関連の展覧会、映像、書籍、美術大学卒業制作展を見ること。これらもその都度指示する。				
教科書・教材	教科書	課題の説明、資料、作品鑑賞の手引きは担当教員作成のプリントを配布。			
	教材	なし			
	使用設備・備品	実技教室・木工室の設備・備品を使い課題制作を行なう。			
	参考文献	美術関係の書籍を必要に応じて指示する。			
評価方法	説明や資料の理解度 30% 授業中の態度 10% 課題ごとの制作熱意、表現力、創造力、応用力 60%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	当日の内容、説明、注意点を授業の最初に行なうので遅刻をしないこと。完成した課題作品ごとに必ず作品撮影をすること。(修了研究ポートフォリオ用) 授業内容の順序、回数は進行状況により変更になる場合もある。				
本科履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	前期授業内容の説明。次回の課題について説明。作品鑑賞。	立体作品を作る為の構想、計画、準備等の大切さを知る。作品鑑賞により立体に対する見方を深める。	予習・自分の知る範囲の立体彫刻を考え調べる。(60分) 復習・鑑賞で見た立体作品の確認をする。(30分)
第2回	「平面から立体へ」 一紙の造形— 紙の簡単な立体制作(1)	造形素材として紙の特徴や簡単な加工方法を学び、紙の可能性の広さを知る。	予習・身の回りにある紙製品を調べる。(60分) 復習・作品の見直しと学んだ技法を覚える。(30分)
第3回	「平面から立体へ」 一紙の造形— 形の発見・(2)	平面デザインの作成方法を学び、変化のある形を多く制作できるようにする。	予習・デザインの意味をできる範囲でしらべる。(60分) 復習・学んだ制作方法を確認し覚える。(30分)
第4回	「平面から立体へ」 一紙の造形— 色を創る(3)	アクリル絵の具の使い方を学び、混色の技法で多くの色彩をつくり出す楽しさを知る。	予習・身の回りや自然の中で、好きな色を調べる。(60分) 復習・混色の技法を確認しつくり方を覚える(30分)
第5回	「平面から立体へ」 一紙の造形— 抽象の形と台座・(4)	抽象の形を知り、本体部分を支える台座の必要性を学ぶ。	予習・身の回りや自然の中で抽象の形を調べる。(60分) 復習・制作した台座が適切であったか確認する。(30分)
第6回	「平面から立体へ」 一紙の造形— ペーパースカルプチュア完成・(5)	作品全体のバランス、強度を考え平面から立体へ変化させる過程を楽しみ作品完成の達成感を知る。	予習・作品完成のため、効果のある方法を調べる。(30分) 復習・完成作品の写真撮影と見直し(60分)
第7回	「イメージと形」 一発泡スチロールと粘土の造形— 試作品作成・(1)	粘土素材でミニチュアの作品を作り感覚的なイメージを現実にする過程を学ぶ。	予習・つくりたいミニ立体の形を考える。(60分) 復習・ミニ立体を大きな形にする構想を考える(60分)
第8回	「イメージと形」 一発泡スチロールと粘土の造形— 心材のデザイン・(2)	スチロールの応用法を知りその加工を通し素材の多様性を認識する。	予習・ミニ立体を大きくする方法や他の形を考える。(60分) 復習・心材制作を確認し覚える(30分)
第9回	「イメージと形」 一発泡スチロールと粘土の造形— 粘土制作・(3)	粘土付けを通して、年度の特徴や表面の質感。加工のしやすさ等知り造形意欲を深める。	予習・粘土付けを効果的に行う為、形の構想を再確認する。(60分) 復習・よりよい形の変化を考える。(60分)
第10回	「イメージと形」 一発泡スチロールと粘土の造形— 彩色と仕上げ・(4)	粘土の作品に色彩を施すことで表現力や存在感が強くなることを体得する。	予習・作品の完成に向けて、効果的な配色を調べる。(60分) 復習・完成作品の写真撮影と見直し(60分)
第11回	「空間と造形」 一石膏の基礎造形— 型と流し込み・(1)	石膏の技法を学ぶ。さまざまなデザインの型に流し込み、素材の変化と多様性に興味を持つ。	予習・身の回りに石膏製のものがあるかを調べてみる。(60分) 復習・石膏の技法を再確認する。(30分)
第12回	「空間と造形」 一石膏の基礎造形— 型抜きと成形・(2)	型抜きをした石膏に手を加え自分の好む形へするための技法を知り造形の面白みを知る。	予習・型を元にした自分の好む形のデザインを考える。(60分) 復習・形と色の調和等見直す。(60分)
第13回	「空間と造形」 一石膏の基礎造形— 立体制作・(3)	石膏の素材と技法をさらに巾広く習得する為彫刻刀や工具の使用方法を体得する。	予習・立体のデザインを数種類考える。(60分) 復習・彫刻刀や工具の名前と使い方を覚える。(30分)
第14回	「空間と造形」 一石膏の基礎造形— 立体制作・(4)	自分のイメージに合う立体をほぼ創ることができる。全体のバランスや形に応じて刀を使いこなせる。	予習・作品の完成に必要な計画をする。配色、表面処理など。(60分) 復習・彫刻刀の高度な技法を覚える(30分)
第15回	「空間と造形」 一石膏の基礎造形— 仕上げ・(5) 批評会	今までに習得できた技法や知識を応用し、作品を完成できた満足感、達成感を知る。	予習・作品完成に向けて足りない点等再確認をする。(60分) 復習・作品の写真撮影、批評会の再確認(60分)

科目名 Subject	立体造形演習Ⅱ Three Dimensional Art WorkⅡ		教員名	大須賀 万里子	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	立体造形演習Ⅰで学んだ基礎をもとにし、複数の課題ごとに多種多様な素材を用いその特性・加工技術・応用法を体験する。さらに造形に対する幅広い視野や、知識、つくりあげる楽しさ喜びを増すために批評会や作品の鑑賞も行ない、修了研究へつなげていく。				
授業の目標	立体と平面の仕組みや違いを多種多様な素材を通してさらに深く知る。複数の課題制作を通し、高度な美的表現力、創造性、計画性を学ぶ。美容作品にこれらの美的能力を応用し自身や人々をより美しく豊かにできる工夫をする。又芸術学士資格取得のための高い造形力や知識を複数の課題体験で学ぶ。				
時間外学習 (予習・復習)	実技に予習復習は大切である。授業毎に90分～120分の予習・復習を行なう必要があり、それぞれの時間や内容はその都度指示する。又美術関連の展覧会、映像、美術大学卒業制作展なども多く見ること。これらもその都度指示する。				
教科書・教材	教科書	担当教員作成の資料やプリントを使用。			
	教材	なし			
	使用設備・備品	木工室の備品を使用			
	参考文献	なし			
評価方法	制作中の熱意・工夫 50% 課題 50%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	その日の工程や説明を授業のはじめに行なうので、遅刻に気をつける。授業内容の順序、回数は進行状況により変更になる場合がある。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	年間授業内容説明と次回実技について説明、準備。参考作品の鑑賞(1)		
第2回	年間授業内容説明と次回実技について説明、準備。参考作品鑑賞(1)	後期授業全体の流れと修了研究の関連を知る。作品の鑑賞で現代美術の傾向を学ぶ。	予習・自分の好きな美術作品や美術家を調べ書き出す(120分)復習・鑑賞の美術家を調べる。(90分)
第3回	「ボディアートⅠ」 手と造形 (1)		
第4回	「ボディアートⅠ」 手と造形 (1)	人体の中で手をテーマにする。その機能美を知り、構造や形の確認のためにデッサンを体験する。	予習・自分の手のさまざまなポーズのデッサン。(120分)復習・手の骨格や形を再確認し再デッサンする(120分)
第5回	「ボディアートⅠ」 ダンボールの造形 (2)		
第6回	「ボディアートⅠ」 ダンボールの造形 (2)	手(腕を含む)の型取り準備の最初にダンボール素材の特性・加工法を学び、枠を作成する。	予習・型取りするための美的な手のポーズを複数決める(90分)復習・身の回りのダンボール製品を調べる。(90分)
第7回	「ボディアートⅠ」 型取り剤と造形 (3)		
第8回	「ボディアートⅠ」 型取り剤と造形 (3)	型取りの意味や型取り剤の使用法を知り自身の手の型取りを経験をする。	予習復習・立体造形Ⅰで学んだ石膏素材の使用法や注意点を書き出し再確認する。(120分)
第9回	「ボディアートⅡ」 石膏の造形 (1)		
第10回	「ボディアートⅡ」 石膏の造形 (1)	手の枠型の石膏流しこみ等、高度な技法やを体験する。作品鑑賞でその応用作品例を知る。	予習・校内や自身の周りで石膏製のものを探してみる。(120分)復習・鑑賞で見た作者を調べる。(120分)
第11回	「ボディアートⅡ」 石膏の造形 (2)		
第12回	「ボディアートⅡ」 石膏の造形 (2)	型取りした石膏素材の手を美的にする為の修整技法を体験する。	予習・手の美的造形デザインと彩色を複数考え描く(120分)復習・デザインの見直し最終決定(120分)
第13回	「ボディアートⅡ」 石膏の造形 (3)		
第14回	「ボディアートⅡ」 石膏の造形 (3)	アクリル絵の具の特質を知り、石膏の手を造形デザインと彩色で美的・個性的に仕上げる。	予習・レリーフについて調べる。(120分)復習・作品の写真撮影。作品の見直し(120分)
第15回	「レリーフⅠ」 木の造形 (1)		

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	「レリーフⅠ」 木と造形 (1)	レリーフの意味、造形上の特徴を学び、素材の木のレリーフ板加工法を体験する。	予習・レリーフで表現したいデザインを考える。(120分) 復習・木製品を探し構造色彩等調べる。(120分)
第17回	「レリーフⅠ」 木と造形 (2)		
第18回	「レリーフⅠ」 木と造形 (2)	素材の木の名称、特質を知り粘土造形の心材加工や応用性を体験する。	予習・さまざまなレリーフの作品例を見てデザインを決定(120分) 復習・木の名称と加工法の再確認(120分)
第19回	「レリーフⅠ」 粘土と造形 (1)		
第20回	「レリーフⅠ」 粘土と造形 作品鑑賞 (1)	テーマのデザインを複数から選ぶ。使用する素材の粘土の特質や扱い法を学ぶ。	予習・粘土の種類や特徴を調べる。(120分) 復習・鑑賞で学んだ作者作品を調べる。(120分)
第21回	「レリーフⅠ」 粘土と造形 (2)		
第22回	「レリーフⅠ」 粘土と造形 (2)	木の心材上に粘土を丁寧に付けていき、デザインにそった形を目指し粘土制作を体験する。	予習復習・デザインと粘土制作の工程に無理がないか見直しと確認。(120分)
第23回	「レリーフⅠ」 粘土と造形 (3)		
第24回	「レリーフⅠ」 粘土と造形 批評会 (3)	硬化した粘土加工を行なう為彫刻刀の使い方を学ぶ。細部の仕上げ、彩色で完成する。	予習・作品完成に必要な工程やみ直しを確認する。(120分) 復習・作品写真撮影と批評会の反省(120分)
第25回	「BOX アート」 金属・布・紙等多種素材の造形 (1)		
第26回	「BOX アート」 金属・布・紙等多種素材の造形 (1)	BOX アートの意味・内容等を知る。使用する多くの素材の特徴や使用効果、応用法を学ぶ。	予習・テーマを決め、ラフデッサンを行なう。(120分) 復習・テーマ表現に使う素材を複数決める。(120分)
第27回	「BOX アート」 金属・布・紙等多種素材の造形 (2)		
第28回	「BOX アート」 金属・布・紙等多種素材の造形 (2)	木で箱を作成し好みの素材を複数使い箱の内外を造形しながら手つくりの楽しさを体験する。	予習復習・作品完成に必要な素材や道具、工程等の見直しと確認。(120分)
第29回	「BOX アート」 金属・布・紙等多種素材の造形 (3)		
第30回	「BOX アート」 金属・布・紙等多種素材の造形 批評会 (3)	BOX の内外に自分の世界を自由に造形し、立体表現の幅広さやおもしろさを知る。	予習復習・作品の写真撮影、批評会の反省や確認等を行なう。(120分)

科目名 Subject	デザイン演習 I Design Work I		教員名	林 美喜	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	物事を観察する事、分析する事、発想する事によりデザインワークを学ぶ。 デザインスケッチ、図面表現等、プレゼンテーション技術も学ぶ				
授業の目標	作品制作により、デザイン行為の理解と目標に到達する力を養うことができる。 又、基礎デザインの演習をくりかえし応用力を身につける事ができるようになる。				
時間外学習 (予習・復習)	身近にある様々な色や形の変化を観察する。色々な物、商品やファッション等の小さな変化による見え方の違いを日常でも観察し分析できるようになる。				
教科書・教材	教科書	教員林美喜作成の課題プリント配布、図版等印刷物配布。			
	教材	課題内容に合わせ適宜用意する。デザインマーカー、ケント紙等、他			
	使用設備・備品	PC、DVD、プロジェクター、AV 機器			
	参考文献	課題毎に適宜提示『芸術・デザインの平面構成』朝倉直己著、六耀社、2000 年他			
評価方法	1. 課題作品の制作途中と完成後の講評 2. 完成作品提出の総合評価				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	作品制作が重要だが、学士申請に役立つので作品の保管を怠らない事。				
本科履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション、授業概要解説	この授業の内容を理解する。	身の回りにあるデザインを観察しデザインの種類を調べる。
第2回	視覚伝達、発想の基礎演習	たくさんのアイデアを出せるようになる。デザインに必要なことを学ぶ。	立方体で出来ているものを探す、包装紙や箱の表面グラフィックを観察スケッチ等する。
第3回	視覚伝達、構成の基礎演習でイメージ伝達を学ぶ	対比の言葉から画面構成を制作して他の人にイメージを伝えられるようになる。	対比する言葉を調べる。広告画面のグラフィックとコピーの関連を調べる。
第4回	コラージュによる色面構成	印刷物を切り貼りして新たな作品を作る。イメージと色や形の関係を学ぶ。	好きなタレントやモデルのメイクやファッションからイメージを広げ似合いそうなインテリアやアートの解説文を書く。
第5回	コラージュによる色面構成野制作と講評	課題説明、制作、講評を通してデザインプロセスを学ぶ。	色々な人の表情の画像を探し、楽しい顔と悲しい顔を選びスケッチする。
第6回	デザインスケッチテクニック、うまい絵ではなく説明できる絵を描く	デザイナーのためのスケッチ術を習得する。	自分の持ち物を鉛筆でスケッチする。
第7回	デザインワークとプロセス、コンセプトボード制作1デザインアイテムとキーワード	髪か脚を飾るものの種類を思いっただけ挙げる。自分がデザインできそうな方を選ぶ。	髪を選んだ者は頭部の、脚を選んだ者は脚のスケッチをする。
第8回	デザインワークとプロセス、コンセプトボード制作1アイデアスケッチ	デザインしたものを限られた紙面にまとめる。	既存の髪飾りや脚を飾る物をリサーチして来る、自分が選んだ方。
第9回	デザインワークとプロセス、コンセプトボード制作1アイデアスケッチ完成	デザインしたものをスケッチや言葉でひとつの画面にまとめる。	自分が選ばなかった方もリサーチする。
第10回	プレゼンテーションと講評	デザインしたものを他者に伝達する方法を学ぶ。	自分の持っている物のデザイン評価をする、優れているところとそうでないところを文章にする。
第11回	デザインワークとプロセス2立体デザインと素材-紙。毎回、途中経過の発表をする	ケント紙を折ったり切った離る実験をして造形の可能性を学ぶ。	食器のリサーチをして来る。
第12回	デザインワークとプロセス2立体デザインと素材-紙。紙皿のデザイン	アイデアスケッチと制作、途中経過の発表をする。	自分の家にある食器にスナック菓子を入れた状態でスケッチする。
第13回	デザインワークとプロセス2立体デザインと素材-紙。紙皿のモデル制作	デザインした紙皿の立体モデル制作をする。	紙でできている物にはどんな物があるのかりサーチして来る。
第14回	デザインワークとプロセス2立体デザインと素材-紙。コンセプトボード及びモデル制作	紙皿の展開図とレンダリングをコンセプトボードにまとめる。	図面の種類を調べて来る。
第15回	プレゼンテーションと講評、立体モデルの撮影	コンセプトボードとモデルでデザイン内容を表現する。	小物をアングルを変えて撮影する。

科目名 Subject	デザイン演習Ⅱ Design WorkⅡ		教員名	菊池 信二	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	視覚の多様性から視覚伝達の多様性、そしてテーマに沿った基本思想をもとにデザインワークを学ぶ。幅広いデザイン領域を理解することで、美容デザインにおけるデザインの役割を把握し、自己のデザインを論理的に分析する力を養う。				
授業の目標	様々な視覚伝達表現によるデザインワークを、自由な発想と独自の感性で、より面白く、より美しく表現できるようになる。				
時間外学習 (予習・復習)	それぞれの課題について、テーマに沿った基本思想を考案し、様々な表現方法の準備をする。				
教科書・教材	教科書				
	教材				
	使用設備・備品				
	参考文献				
評価方法	1. 授業態度 2. 作品 の総合評価				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	デザインワークにおけるプロセスの重要性から、基本的に遅刻、欠席は認めません。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	デザイン領域を学ぶ	幅広いデザイン領域を把握する	
第2回	美容芸術とデザインの関係性を学ぶ	美容芸術におけるデザインの役割を把握する	
第3回	視覚の多様性(1) 視覚の様々な可能性を学ぶ	視覚の多様性を把握する	
第4回	視覚の多様性(2) 文字のいろいろな顔を学ぶ	視覚言語の様々な可能性を把握する	
第5回	視覚言語の多様性(1) アイデアスケッチ、下図完成	視覚言語の様々な表現の可能性を発見できるようになる	
第6回	視覚言語の多様性(2) 着彩、完成	視覚言語の様々な表現の可能性を表現できるようになる	
第7回	視覚伝達の多様性(1) 新しいモノの見方を学ぶ	視覚伝達の様々な可能性を把握する	
第8回	視覚伝達の多様性(2) 資料収集、アイデアスケッチ	視覚伝達の様々な可能性を発見できるようになる	
第9回	視覚伝達の多様性(3) 下図、着彩	視覚伝達の様々な可能性を表現できるようになる	
第10回	視覚伝達の多様性(4) 着彩、完成	視覚伝達の様々な可能性を表現できるようになる	
第11回	視覚伝達の多様性(5) 屋外撮影	視覚伝達の様々な表現の可能性を発見、構想、展開できるようになる	
第12回	視覚伝達の多様性(6) タイトル、キャチコピーを考案する	視覚伝達の様々な表現の可能性を発見、構想、展開できるようになる	
第13回	視覚伝達の多様性(7) レイアウトチェック	視覚伝達の様々な表現の可能性を発見、構想、展開できるようになる	
第14回	視覚伝達の多様性(8) プレゼンテーション、講評	視覚伝達の様々な表現の可能性を発見、構想、構築、展開を自分の言葉で表現できるようになる	
第15回	デザイン企画(1) テーマに沿ったリサーチ	テーマに沿ったリサーチをもとに「美」を発見できるようになる	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	デザイン企画(2) リサーチボードを創る	テーマに沿ったリサーチをもとに「美」を構築できるようになる	
第17回	デザイン企画(3) コンセプトを決定する	テーマに沿ったリサーチをもとに基本思想となる「コンセプト」を立案できるようになる	
第18回	デザイン企画(4) アイデアスケッチ①	テーマに沿った基本思想をもとに自由な発想ができるようになる	
第19回	デザイン企画(5) デザイン画①下図制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第20回	デザイン企画(6) デザイン画①制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第21回	デザイン企画(7) デザイン画①制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第22回	デザイン企画(8) デザイン画①制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第23回	デザイン企画(9) アイデアスケッチ②	テーマに沿った基本思想をもとに自由な発想ができるようになる	
第24回	デザイン企画(10) デザイン画②下図制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第25回	デザイン企画(11) デザイン画②制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第26回	デザイン企画(12) デザイン画②制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第27回	デザイン企画(13) デザイン画②制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第28回	デザイン企画(14) デザイン画②制作	テーマに沿った基本思想をもとに美しいデザイン表現ができるようになる	
第29回	デザイン企画(15) プレゼンテーション	テーマに沿ったリサーチから、デザインプロセス・表現を経て、新しい美の提案ができるようになる	
第30回	デザイン企画(16) 講評	問題点の理解とデザインプロセスから、独自のデザイン表現による解決法の把握	

科目名 Subject	CG演習 I CG Work I		教員名	金 ミンコン	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修/選択	必修	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	デザイン現場でプロが使っているアプリケーションを操作し、基本操作を身につけます。仕事の現場などで活用できるデザイン制作を行います。				
授業の目標	1) 基本デザインアプリケーションが使えるようになる。 2) 自分の表現に役立つような CG の使い方を身につける。 3) デザインを理解し、美意識のあるデザインについて考察できるようになる。				
時間外学習 (予習・復習)	授業は演習形式で行います。予習として、アイディアスケッチ、構想案などの素材準備が必要です。各スキル（機能とショートカットキー）は復習で身につけます。				
教科書・教材	教科書	配布プリント			
	教材	USB メモリ			
	使用設備・備品	PC 教室の PC を使用します。			
	参考文献	なし			
評価方法	平常点 50%。提出課題の理解と完成度 50%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業内容は、進捗状況によって変更になる場合があります。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	デザインアプリケーションの基礎1：アプリケーション特徴をや基本機能を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：ワークスペース、ツール、の機能を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第2回	デザインアプリケーションの基礎2：アプリケーション基本機能を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：コントロールバー、パレットの機能を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第3回	デザインアプリケーションの基礎3：アプリケーション基本機能を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：パレットの機能を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第4回	デザインアプリケーションの基礎4：図形の描き方と応用	Adobe デザインソフトの基礎：図形の制作と応用、の機能を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第5回	デザインアプリケーションの基礎5：テキスト関連ツールの基礎を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：テキスト機能を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第6回	デザインアプリケーションの基礎6：画像関連ツールの基礎を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：レイヤー、リンク機能を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第7回	デザインアプリケーションの基礎7：画像関連ツールの応用を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：画像効果機能を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第8回	デザインアプリケーションの基礎8：文字のデザインを学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：文字の図形化を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第9回	デザインアプリケーションの基礎9：ペンツールの基礎を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：ペンツールの基本を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第10回	デザインアプリケーションの基礎10：ペンツールの応用を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：ペンツール応用方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第11回	デザインアプリケーションの基礎11：人を描く基本	Adobe デザインソフトの基礎：人を描く方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第12回	デザインアプリケーションの基礎12：人を描く基本	Adobe デザインソフトの基礎：人を描き、色をつける方法を習得する	描く人のコンセプト（性別、ヘアースタイル、全体のコンセプト）を考える。（60分程度）
第13回	デザインアプリケーションの基礎13：物を描く基本	Adobe デザインソフトの基礎：物を描き、色をつける方法を習得する	色の4原色と光の3原色について調べる（60分程度）
第14回	デザインアプリケーションの基礎14：素材の活用と印刷の基本を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：物を描き、印刷所に入稿するデータの基本を理解する	全体のデザインコンセプトを考える。ショートカットキーを復習する（60分程度）
第15回	デザインアプリケーションの基礎15：素材の活用と印刷の基本を学ぶ	Adobe デザインソフトの基礎：人と物を組み合わせ、印刷用の入稿データを作れるようになる	全体のデザインコンセプトを考える。ショートカットキーを復習する（60分程度）

科目名 Subject	CG演習Ⅱ CG Work II		教員名	金 ミンコン	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	CG演習Ⅰで学んだことをさらに発展させ、より高度なアプリケーションの使い方を習得します。高度なデザイン能力を身につけます。				
授業の目標	1) 目的に応じたデザインをすることができるようになる。 2) 表現力を高め、美的なデザイン要素を理解する。				
時間外学習 (予習・復習)	授業は演習形式で行います。予習として、アイディアスケッチ、構想案などの素材準備が必要です。各スキル（機能とショートカットキー）は復習で身につけます。				
教科書・教材	教科書	配布プリント			
	教材	USBメモリ			
	使用設備・備品	PC教室のPCを使用します。			
	参考文献	なし			
評価方法	平常点50%。提出課題の理解と完成度50%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業内容は、進捗状況によって変更になる場合があります。				
本科履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	デザイン制作実践1:文字の表現	Adobe デザインソフトの使い方を復習	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第2回	デザイン制作実践1:文字の表現	Adobe デザインソフトの使い方を復習	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第3回	デザイン制作実践2:文字の表現とデザイン	文字をデザインする方法を習得する	架空のブランド名を30案程度考える(60分程度)
第4回	デザイン制作実践2:文字の表現とデザイン	文字をデザインする方法を習得する	架空のブランド名を30案程度考える(60分程度)
第5回	デザイン制作実践3:ペンツールによるベジェ曲線の練習	ベジェ曲線を理解する	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第6回	デザイン制作実践3:ペンツールによるベジェ曲線の練習	ベジェ曲線を理解する	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第7回	デザイン制作実践4:ペンツールによるベジェ曲線の練習	ベジェ曲線で人を描く方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第8回	デザイン制作実践4:ペンツールによるベジェ曲線の練習	ベジェ曲線で人を描く方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第9回	デザイン制作実践5:ペンツールによるロボットの描き方	ベジェ曲線で左右対称のロボットを描く方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第10回	デザイン制作実践5:ペンツールによるロボットの描き方	ベジェ曲線で左右対称のロボットを描く方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第11回	デザイン制作実践6:ロボットの描き方と応用	ベジェ曲線で左右対称のロボットを描く方法と応用	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第12回	デザイン制作実践6:ロボットの描き方と応用	ベジェ曲線で左右対称のロボットを描く方法と応用	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第13回	デザイン制作実践7:ロボットの描き方と応用	ベジェ曲線で左右非対称のロボットを描く方法	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第14回	デザイン制作実践7:ロボットの描き方と応用	ベジェ曲線で左右非対称のロボットを描く方法	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)
第15回	デザイン制作実践8:人を描く方法を学ぶ	人を描く方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する(60分程度)

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	デザイン制作実践8：人を描く方法を学ぶ	人を描く方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第17回	デザイン制作実践9：髪を描く方法を学ぶ	人を描く（髪）方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第18回	デザイン制作実践9：髪を描く方法を学ぶ	人を描く（髪）方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第19回	デザイン制作実践10：目と鼻、唇を描く方法を学ぶ	人を描く（目、鼻、唇）方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第20回	デザイン制作実践10：目と鼻、唇を描く方法を学ぶ	人を描く（目、鼻、唇）方法を習得する	基本的な機能とショートカットキーを復習する（60分程度）
第21回	デザイン制作実践11：人のイラストを描く方法を学ぶ	人のイラストを描く方法を習得する	人のスケッチを5案準備する（60分程度）
第22回	デザイン制作実践11：人のイラストを描く方法を学ぶ	人のイラストを描く方法を習得する	人のスケッチを5案準備する（60分程度）
第23回	デザイン制作実践12：ロボットをデザインし、描く方法を学ぶ	特徴のあるロボットをデザインし、イラスト化する方法を習得する	ロボットのスケッチを5案準備する（60分程度）
第24回	デザイン制作実践12：ロボットをデザインし、描く方法を学ぶ	特徴のあるロボットをデザインし、イラスト化する方法を習得する	ロボットのスケッチを5案準備する（60分程度）
第25回	デザイン制作実践12：ロボットをデザインし、キャラクター作りを学ぶ	特徴のあるロボットをデザインし、キャラクター化する方法を習得する	ロボットのキャラクター（ネーミング、特徴など）を考える（60分程度）
第26回	デザイン制作実践12：ロボットをデザインし、キャラクター作りを学ぶ	特徴のあるロボットをデザインし、キャラクター化する方法を習得する	ロボットのキャラクター（ネーミング、特徴など）を考える（60分程度）
第27回	デザイン制作実践12：人をデザイン化する方法を学ぶ	人間型のイラストを描き、キャラクター化する方法を習得する	キャラクター（ネーミング、特徴など）を考える（60分程度）
第28回	デザイン制作実践12：人をデザインし、描く方法を学ぶ	人間型のイラストを描き、キャラクター化する方法を習得する	キャラクター（ネーミング、特徴など）を考える（60分程度）
第29回	デザイン制作実践12：ポスターを作る	素材を使って、ポスターを作成できるようにする	ポスターの構図とキャッチコピーを考える
第30回	デザイン制作実践12：ポスターを作る	素材を使って、ポスターを作成できるようにする	ポスターの構図とキャッチコピーを考える

科目名 Subject	美容デザイン演習 Beauty Design Work		教員名	菊池 信二	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	デザインの美を観察、分析し、美のブランドを企画立案する。基本思想をもとにネーミング、ロゴアート、メイクアップアート、ポスターアート表現によるデザインワークを学び、「美」の考察、研究発表する。				
授業の目標	自己の思想とコンセプトのもとに、問題を発見し、最善の解決法を探りながら、独自のデザイン表現で、新しい美を社会提案できるようになる。				
時間外学習 (予習・復習)	デザイン様式のひとつであるアール・ヌーボー、アール・デコの歴史的背景、作品群をリサーチし、造形美の特徴を抽出する。				
教科書・教材	教科書				
	教材				
	使用設備・備品				
	参考文献				
評価方法	1. 授業態度 2. 作品 の総合評価				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	デザインワークにおけるプロセスの重要性から、基本的に遅刻、欠席は認めません。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	デザインの美 (1) 自然界に潜むデザインの美の存在を学ぶ	自然界に潜むデザインの美の存在を把握する	
第2回	デザインの美 (2) デザインの歴史を学ぶ	デザインの歴史を知ることにより、デザインの美を把握する	
第3回	デザインの造形美 (1) テーマ①に沿った造形美を抽出	テーマ①に沿ったリサーチから、造形美を抽出できるようになる	
第4回	デザインの造形美 (2) テーマ②に沿った造形美を抽出	テーマ②に沿ったリサーチから、造形美を抽出できるようになる	
第5回	美のブランド企画 (1) コンセプトを決定する	自己の思想をもとに基本思想となる「コンセプト」を立案できるようになる	
第6回	美のブランド企画 (2) ネーミングを決定する	基本思想をもとに独自の言葉を考案できるようになる	
第7回	美のブランド企画 (3) ビジュアル素材を創る	基本思想をもとに様々な表現素材を創ることができるようになる	
第8回	美のブランド企画 (4) ビジュアル素材を構築する	基本思想をもとに様々な表現素材を構築できるようになる	
第9回	美のブランド企画 (5) ロゴアートを考案する	基本思想をもとにキービジュアルになる造形美を具現化できるようになる	
第10回	美のブランド企画 (6) ロゴアート下図制作	基本思想をもとにキービジュアルになる造形美を構築できる造形力を養う	
第11回	美のブランド企画 (6) ロゴアート制作	基本思想をもとにキービジュアルになる造形美を構築できる造形力を養う	
第12回	美のブランド企画 (7) ロゴアート制作	基本思想をもとにキービジュアルになる造形美を構築できる造形力を養う	
第13回	美のブランド企画 (8) メイク・アップアート アイデアスケッチ	基本思想をもとに造形美を展開できるようになる	
第14回	美のブランド企画 (9) メイク・アップアート アイデアスケッチ	基本思想をもとに造形美を展開できるようになる	
第15回	美のブランド企画 (10) メイク・アップアート 下図制作 準備	基本思想をもとに展開された造形美を構築できる造形力を養う	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	美のブランド企画(11) メイク・アップアート 下図制作 準備	基本思想をもとに展開された造形美を構築できる造形力を養う	
第17回	美のブランド企画(12) メイク・アップアート制作	基本思想をもとに展開された造形美を構築できる造形力を養う	
第18回	美のブランド企画(13) メイク・アップアート制作	基本思想をもとに展開された造形美を構築できる造形力を養う	
第19回	美のブランド企画(14) メイク・アップアート撮影	基本思想をもとに展開された造形美を構成できるようになる	
第20回	美のブランド企画(15) メイク・アップアート撮影	基本思想をもとに展開された造形美を構成できるようになる	
第21回	美のブランド企画(16) ポスターアート アイデアスケッチ	基本思想をもとにビジュアルイメージを創案できるようになる	
第22回	美のブランド企画(17) ポスターアート 資料収集	基本思想をもとにビジュアルイメージを創案できるようになる	
第23回	美のブランド企画(18) ポスターアート 下図制作	基本思想をもとにビジュアルイメージを構築できるデザイン力を養う	
第24回	美のブランド企画(19) ポスターアート制作	基本思想をもとにビジュアルイメージを構築できるデザイン力を養う	
第25回	美のブランド企画(20) ポスターアート制作	基本思想をもとにビジュアルイメージを構築できるデザイン力を養う	
第26回	美のブランド企画(21) ポスターアート制作	基本思想をもとにビジュアルイメージを構築できるデザイン力を養う	
第27回	美のブランド企画(22) 美の考察、研究、未来の美 レポート作成	「美」について、独自の分析による表現ができるようになる	
第28回	美のブランド企画(23) 美の考察、研究、未来の美 レポート作成	「美」について、独自の分析による表現ができるようになる	
第29回	美のブランド企画(24) プレゼンテーション	基本思想をもとに、デザインプロセス・表現を経て、新しい美の提案ができるようになる	
第30回	美のブランド企画(25) 講評	問題点の理解とデザインプロセスから、独自のデザイン表現による解決法の把握。	

科目名 Subject	美容芸術研究 Study of Art of Beauty		教員名	富田 知子	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	美容芸術としては当然、作者自自新のイメージ表現が重要視されるが、美容は本来、人体をもとに考えられるものであるため、その素材となる人物のもつ条件を十分に生かすという条件が生まれる。しかしその制約や条件から生まれる新しい表現もある。前期スタイルドローイングで制作した作品をもとに、人体表現を行うことでそのよう新しい表現を見つけ出す。				
授業の目標	前期スタイルドローイングで制作した作品を、人体に落とし込み作品制作を行う。作品は写真撮影を行い、写真での表現とし完成とする。完成した作品はA1サイズのプリントとし、パネルとして展示をおこなう。制作にあたり、モデルとの協議を行い、モデルとコンセプトを共有する必要がある、そのための新たなプレゼンテーション用コンセプトシートを作成することができるようにする。				
時間外学習 (予習・復習)	制作のための素材を集め、アクセサリーの制作などを行い、授業内の作業が計画に基づき進むように予習・復習を行う。				
教科書・教材	教科書	必要に応じ指定します			
	教材	美容材料他			
	使用設備・備品	代々木スタジオ カメラ			
	参考文献	必要に応じて提示します			
評価方法	計画の履行と最終作品およびコンセプトシートの提出。プレゼンテーション				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	撮影日に撮影ができない場合単位は取得できません。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	授業内容ガイダンス	制作の計画を構成する	前期のスタイルドローイングのコンセプトシートの確認
第2回	作品制作に向けてのイメージの構築	前期のスタイルドローイング作品を人体に落とし込む	新たにイメージソースの収集
第3回	作品コンセプトの決定	収集したイメージより形を探る	次回までにヘアスタイルの形のイメージを固める
第4回	ヘアスタイルの決定	ヘアスタイルのデッサン	ヘアスタイルの色を探る
第5回	ヘアスタイルの色の決定	ヘアデッサンに色を入れる	メイクのイメージを探る
第6回	メイクデザインの決定	メイクをデッサンする	ヘアアクセサリについての情報の収集
第7回	ウィッグでヘアスタイル試作	デザインをウィッグで制作	ヘアスタイルのパーツなどを作っておく
第8回	ウィッグにメイク試作	ウィッグの顔にメイクし確認する	メイクに必要な材料の選択と準備を行っておく
第9回	アクセサリの制作	アクセサリをデザインし必要な材料のリストアップ	ヘアアクセサリについての材料をそろえる
第10回	アクセサリの制作	ヘアアクセサリの制作を行い完成させウィッグにつけて確認する	美容材料；ピンなどの準備
第11回	ウィッグによる試作	実際にヘアスタイルを作っておく確認する	実際仮のモデルに行うための俊美
第12回	全体を仮のモデルで制作	仮のモデルにヘアメイクを施し、所要時間などの確認	一人1時間で施術が完了するように練習を行い、撮影に必要なものを準備する
第13回	撮影	実際のモデルでの撮影	撮影した感想をまとめておく。
第14回	撮影データの確認と選択	データを確認・選択しプリントする。	展示用に準備行う
第15回	プレゼンテーション	写真をもとにプレゼンテーションをおこなう。	作品をポートフォリオに整理をする。

科目名 Subject	色彩研究 Study of Colors		教員名	栗本 佳典	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	<p>美容をはじめ、デザイン等さまざまな仕事で使うことのできる色彩の基礎の確認から応用までを学び研究します。 配色計画やイメージ表現、パーソナルカラーなどについて、カラーカードやポスターカラーを用いた実習を取り入れながら展開します。</p>				
授業の目標	<p>色相、明度、彩度、トーンといった色彩の基礎を十分に理解した上で、カラーシステムや配色計画について詳しく研究し、色彩を自由に使いこなす力を身につける。 また、様々なテーマからイメージを膨らませ色彩構成することによって、色彩計画の幅を広げ、感性を豊かにするとともに、より実践的なパーソナルカラーの能力を身につける。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>展覧会やコンサートなどのチラシをたくさん集め、それらの配色デザインを分析した配色資料集を作成し研究して下さい。</p>				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献				
評価方法	<p>授業内容の理解度 40% 課題に取り組む姿勢 40% 課題作品の完成度 20%</p>				
	<p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
履修上の注意					
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	色彩について	色彩学をふり返り、自分の知識を確認することで、今後学ぶべき範囲を理解する。	
第2回	色彩について	色彩学をふり返り、自分の知識を確認することで、今後学ぶべき範囲を理解する。	
第3回	色名	古代から現代までのさまざまな色名を知る。	
第4回	色名	古代から現代までのさまざまな色名を知る。	
第5回	マンセル色相	世界共通のマンセルカラーシステムを確認し、色相表を作りシステムを理解する。	
第6回	マンセル色相	世界共通のマンセルカラーシステムを確認し、色相表を作りシステムを理解する。	
第7回	PCCS トーン分類	PCCS トーンの表示方法を確認し、配色カードのしくみを知る。	
第8回	PCCS トーン分類	PCCS トーンの実現方法を確認し、配色カードのしくみを知る。	
第9回	CCIC トーン分類と色名	CCIC のトーン色を作成し、新たな色名を作り出すことにより発想力を得る。	
第10回	CCIC トーン分類と色名	CCIC のトーン色を作成し、新たな色名を作り出すことにより発想力を得る。	
第11回	カラーイメージデータ	多くの人のカラーイメージを知り、色彩イメージの効果的な演出力を高める。	
第12回	カラーイメージデータ	多くの人のカラーイメージを知り、色彩イメージの効果的な演出力を高める。	
第13回	パーソナルカラー基礎編	パーソナルカラーのコンセプトやシステムを理解する。	
第14回	パーソナルカラー基礎編	パーソナルカラーのコンセプトやシステムを理解する。	
第15回	パーソナルカラー応用編	パーソナルカラーにおける分析法やイメージ表現を身につける。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	パーソナルカラー応用編	パーソナルカラーにおける分析法やイメージ表現を身につける。	
第17回	パーソナルカラー実践編	より実践的なパーソナルカラーの分析力や応用力を身につける。	
第18回	パーソナルカラー実践編	より実践的なパーソナルカラーの分析力や応用力を身につける。	
第19回	絵画の配色分析	絵画作品の配色を分析し、様々な色彩表現があることを知る。	
第20回	絵画の配色分析	絵画作品の配色を分析し、様々な色彩表現があることを知る。	
第21回	配色技法	デザインでも使用される、さまざまな配色技法が出来るようになる。	
第22回	配色技法	デザインでも使用される、さまざまな配色技法が出来るようになる。	
第23回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第24回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第25回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第26回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第27回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第28回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第29回	研究発表	自己の研究を発表することにより、プレゼンテーション能力を高める。	
第30回	研究発表	自己の研究を発表することにより、プレゼンテーション能力を高める。	

科目名 Subject	スタイルドローイング Style Drawing		教員名	富田 知子	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	美容が扱う「人」は社会の中で生き、その社会において影響を受けながら自己の生き方を確立していく。ファッションや住居環境もその一つであり、そこには時代特有の美意識と芸術様式が存在する。この授業では、これまで短大から培ってきた、美容と美術の知識と技術をもとに、人体を軸にした「美」を考え、かたちとして表現を行う。				
授業の目標	この授業では、1年での「美容デザイン演習」でおこなった、時代の様式美を理解したうえで、様式美を採用したデザインを取り入れて、コンセプトをつくり、ヘアメイクデザインを行う。そのデザインは、後期「美容芸術研究」での人体モデルを使用した制作へとつながる。デザインは平面作品（技法は自由）として表現する。平面の大きさは15号から30号とする。平面ではあるが、描くだけではなく、必要に応じてコラージュなどミクストメディアを行うことも推奨する。				
時間外学習 (予習・復習)	日常周囲のデザインを意識し、自身の作品コンセプトについて常に問いかけるようにする。デザインに必要な要素は写真、デッサンに起すなどして、授業内の制作に生かしていく。必要な材料の準備などを必ず行い、授業に備える。				
教科書・教材	教科書	特にないが必要に応じて資料を配布する。			
	教材	リンクブック 30号パネル ケント紙 その他画材			
	使用設備・備品	エアブラシ 木工室 等			
	参考文献				
評価方法	主に作品で評価する。時間内にしっかりと作品の制作を行い完成すること。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業内での作品制作が進むように、時間外での準備をしっかりと行ってください。				
本科目履修と 関連する資格	資格名	特にありません。			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	授業内容についてのガイダンス	これまでの学びを振り返り、本授業の位置づけを知る	1年「美容デザイン演習」での作品を確認し、復讐しておく。
第2回	デザインの草案作成とイメージする人物像の決定	リンクブックを使用し、コンセプト決定する	リンクブックに、イメージコラージュをする。
第3回	30号の木製パネルにケント紙を水張りする。	パネルの完成までの待ち時間において、中心となる人物のデッサンを行う	ヘアデザインのエスキースをしておく
第4回	作品用ボードに実際に人物を書き込む。	人物の頭部の下書きを完成させる	ヘアデザインの色を決定しておく
第5回	人物頭部にヘアデザインを加える	ヘアデザイン部分の下書きを完成	メイクの色とデザインのエスキースをしておく
第6回	人物顔面にメイクを加える	メイクの下書きを完成	作品に使う素材を決定し、リストを作る
第7回	作品の制作1) 顔面部	顔髪の部分下塗り1)	随時作品に必要な素材の準備
第8回	作品の制作2) 毛髪部	髪の部分の制作	毛髪の流れについてどのような表現があるか、図書館で美術作品集などをもとに考えてくる
第9回	作品の制作3) 頭部全体	ヘアデザインで欠かせないヘアアクセサリを考える	アクセサリ表現にひつような素材を集める
第10回	作品の制作4) 背景	背景の制作: 着色やコラージュ、エアブラシなど必要な技法の選択	制作に必要な材料の準備
第11回	作品の制作5) 全体の構成	全体を見ながら制作する	さらに制作に必要な材料の準備
第12回	作品の制作6) 完成に向け制作	完成を目前に不足部分を確認し、制作	作品タイトルなどを決定し、タイトルボードの準備を行う
第13回	作品の制作7) 最終確認と制作	作品の完成が次回確実にできるように制作を進める	プレゼン時に提示するコンセプトシートを作成してくる
第14回	作品の制作8) 完成させる	作品の完成と確認	発表用資料を作成してくる
第15回	作品の制作9) 展示とプレゼン	作品について言葉で説明する	後期の美容研究につながるよう、再度デザインについて考察する。

科目名 Subject	写真表現演習 Photographic Work		教員名	西 将隆 浦川 良将	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	4
必修/選択	必修	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	一眼レフカメラを使用し、ビューティ、ファッション、ポートレート等の撮影を行い、作品を作成します。屋外での撮影や、スタジオでの撮影方法を学びます。				
授業の目標	一眼レフカメラの操作、ライティングの技術を身につける。ヘアメイクのスキルを生かし、個人での撮影、チームでの撮影を経験し、作品を作りポートフォリオを制作します。ポートフォリオは、A4サイズのプリントを制作します。就職活動にも、役に立てて下さい。				
時間外学習 (予習・復習)	各授業ごとに、復習の内容を説明します。				
教科書・教材	教科書	オリジナルプリントを配布			
	教材	プリント、資料を授業事に用意します。			
	使用設備・備品	一眼レフカメラ、撮影照明機材、プロジェクター、写真室スタジオ			
	参考文献	図書館にある本全般。			
評価方法	個人課題 50% グループ課題 25% 授業参加意欲 25%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	SD カード (16G 以上を推奨) を各自持参して下さい。(第 1 回目の授業で説明します。)				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション 講師自己紹介、授業内容紹介	授業、評価の内容を把握する。	授業で必要になるものの 説明 SD カード
第2回	カメラの仕組み 絞りとシャッタースピード ピントを合わせる練習	絞りとシャッタースピードを 理解する。ピントを合わせられ ようになる。	カメラ操作の復習。プリント参照。
第3回	カメラの操作① 絞りを変えて撮る	絞りを変えることで写真がど う変化するか理解する。	カメラ操作の復習。プリント参照。
第4回	カメラの操作② シャッタースピードを変えて 撮る。	シャッタースピードを変えて 写真がどう変化するか理解す る。	カメラ操作の復習。プリント参照。
第5回	カメラの操作③ Mモード・マニュアル撮影	絞り、シャッターの組み合わせ で マニュアル撮影が出来る。	カメラ操作の復習。プリント参照。 バストアップ写真を予習。
第6回	バストアップの撮影	ヘアメイクをして、自然光をい かした作品をつくる。	課題①
第7回	課題①の作品提出と総評	他の人の写真を見て勉強する。	ライティングを予習。
第8回	ライティング実習① アイランプ基礎編	アイランプで効果的なライテ ィングを考え撮影する。	ライティングを復習。
第9回	ライティング実習② アイランプ応用編	逆光やバウンス光を利用した ライティングを考える。	ライティングを復習。
第10回	ライティング実習③ ストロボ 基礎編	ストロボの特性を理解する。	ライティングを復習。
第11回	ライティング実習④ ストロボ応用編	逆光やバウンス光を利用した ライティングを考える。	作品撮りのアイデア調査、チームの 編成。
第12回	作品撮り企画会議	グループに分かれテーマを企 画する。	モデル、撮影イメージを決める。必 要なものを確認。
第13回	修了制作 作品撮り	チーム一丸となり、1枚の写真 作品を作る。	課題③
第14回	修了制作 作品撮り	チーム一丸となり、1枚の写真 作品を作る。	課題③
第15回	修了制作 作品撮り	作品撮りプリントアウト ポートフォリオ完成。	

科目名 Subject	ネイルアート研究 Nail Art Studies		教員名	加藤 宏美 他	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2
必修/選択	選択	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	ネイルアーティストとしての心構えから爪に関する基本的な知識を伝授し、爪の健康を考えたケア方法やカラーリング、各種つけ爪や流行のジェルネイルの知識と装着法を習得する。更に、ポリッシュデザインからエンボス、ジェルアートまで、色彩学を含めた理論と実習授業を行なう。				
授業の目標	本科目を履修することにより、全身美容の一つとしてネイル技術は欠かすことの出来ない技術であるということを理解する。年齢を問わず指先の健康を守るという基本概念をしっかりと理解し、ネイルの基礎知識や材料学、話題の最新ネイル技術までをバランス良く習得する。また、ネイルアートの構図や美的効果など実体験を通じて研究する。				
時間外学習 (予習・復習)	授業で習ったことを復習し、頭と身体の両方で覚えていくようにする。また、授業後はノートを整理するよう心掛けてもらう。				
教科書・教材	教科書	ネイルプロフェッショナル 改訂3版 I-NAIL-A 編著			
	教材	個人配布教材と共同教材を使用する			
	使用設備・備品				
	参考文献				
評価方法	次の3点を総合的に評価します。授業に参加をしないと知識や技術が得られないので、まずは授業参加態度を評価します(40%)。また、毎回作成するネイル技術の仕上がりや作品を評価します(20%)。筆記と実技のテストを評価します(40%)。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業には爪に何も施していない状態で参加してください。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	ネイルの基礎知識 ネイルケアの概念と方法 衛生管理の知識と方法	ネイルの正しい知識と衛生管理を理解する。	ネイルの基本材料があれば持参する。
第2回	ネイルの基礎知識 ネイルケアの概念と方法 衛生管理の知識と方法	技術においてはネイルケア方法を理解することができる。	
第3回	ネイルケアとカラーリングの実習	ファイリング、ニッパーの扱いがスムーズにできる。	
第4回	ネイルケアとカラーリングの実習	カラーリングが短時間でムラなく塗れるようになる。	
第5回	スカルプチュアネイル（つけ爪）の種類と材料学、概念と装着方法を学ぶ。	つけ爪とは何かを説明できる	マスク、ペーパータオルを持参。
第6回	スカルプチュアネイル（つけ爪）の種類と材料学、概念と装着方法を学ぶ。	スカルプチュアの正しい装着方法を身につける。	
第7回	モデルハンドにスカルプチュアネイルの実習を行なう。	自然な形のスカルプチュアを作れるようになる。	
第8回	モデルハンドにスカルプチュアネイルの実習を行なう。	自然な形のスカルプチュアを作れるようになる。	
第9回	フレンチスカルプチュアネイルの知識と装着方法を学ぶ	フレンチのスマイルラインが作れるようになる。	
第10回	フレンチスカルプチュアネイルの知識と装着方法を学ぶ	フレンチのスマイルラインが作れるようになる。	
第11回	生徒同士でフレンチスカルプチュアの実習をする。	集中力と統一力を身に付ける。	
第12回	生徒同士でフレンチスカルプチュアの実習をする。	集中力と統一力を身に付ける。	
第13回	ソフトジェル概念、材料学と装着方法を学ぶ。	ソフトジェルの特性を理解することができる	楊枝、フォイルを持参。
第14回	ソフトジェル概念、材料学と装着方法を学ぶ。	ジェルをムラなく塗布出来るようになる。	楊枝、フォイルを持参。
第15回	ソフトジェルの実習。	ジェルの特性を理解し、長さ出しが出来るようになる。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	ソフトジェルの実習	ジェルの特性を理解し、長さ出しが出来るようになる	
第17回	ソフトジェルのカンチデザインの実習	カンチスタイルのデザインを理解することができる	
第18回	ソフトジェルのカンチデザインの実習	カンチスタイルのデザインを理解することができる	
第19回	マーブルなどデザインの実習	ジェルのデザイン技術を習得することができる	
第20回	マーブルなどデザインの実習	ジェルのデザイン技術を習得することができる	
第21回	エンボスと3Dの基本概念と実習。	サロン用とコンペティション用の両方のアートを作ることができる	
第22回	エンボスと3Dの基本概念と実習。	サロン用とコンペティション用の両方のアートを作ることができる	
第23回	ネイルペインティングの基本概念と実習。	モチーフのバランスと配色を考え効果的に絵を描けるようになる。	
第24回	ネイルペインティングの基本概念と実習。	モチーフのバランスと配色を考え効果的に絵を描けるようになる。	
第25回	ポリッシュデザインの基本概念と実習。	ポリッシュのカンチスタイルを理解することができる	
第26回	ポリッシュデザインの基本概念と実習。	適正な色の選択、組み合わせが出来ようになる。	
第27回	総括実技	技術の確認を行い、自分に不足している部分を確認し、今後の課題を知る。	
第28回	総括実技	技術の確認を行い、自分に不足している部分を確認し、今後の課題を知る。	
第29回	総括実技確認及び理論確認	爪の基礎知識、材料学、技術などを確認し、今後補うべき技術、知識を知る。	
第30回	総括実技確認及び理論確認	爪の基礎知識、材料学、技術などを確認し、今後補うべき技術、知識を知る。	

科目名 Subject	ファッション情報研究 Fashion Information Studies		教員名	森 秀男	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	<p>1. ファッション情報についての基本から応用まで、様々な観点から研究し学ぶ。 2. 業界の最新動向を把握し、情報の有効な活かし方を企画演習によって身につける。 3. 授業計画は、市場の変化や学生の理解度や進捗度により、多少の変更の可能性がある。</p>				
授業の目標	<p>1. この科目を通して、ファッションに関する幅広い視野と専門性を習得する。 2. 自身のキャリア計画をする際に、自主的に判断し実践できるようになる。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>1. 各回の授業の前週に、次回の内容を説明し、情報収集をして準備を整える。 2. また、その回の授業の内容をしっかりと振り返り、ブランド、ショップ、企等業を調べて咀嚼する。 予習復習にかかる時間は概ね60程度を想定しているが、テーマによって多少前後する。</p>				
教科書・教材	教科書	特になし			
	教材	特になし			
	使用設備・備品	プロジェクター、印刷資料の投影機、DVDの再生機			
	参考文献	必要に応じて表示する			
評価方法	<p>・「実習ワーク」をメインに、「講義の理解の程度」等によって評価する。 ・「平常点20%、企画ワーク60%、小テスト20%」</p>				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	<p>・実習ワークを行なうので、欠席や遅刻をしないように心がける。 ・ファッション雑誌を各自で用意して授業毎に持参する。 ・実習用必要用具＝ハサミ、カッター、のり、ものさし、色鉛筆、マーカーなど</p>				
本科履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション（授業内容）ファッション情報の概要 ファッション情報とは、その分類等。	授業の内容をしっかりと把握する。ファッション情報の分類と意義を学び、今後の勉強に生かす。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第2回	ファッション・トレンド情報 1 ディレクション&スタイリング情報	ファッションディレクションの概要とスタイリングとの関係を知り、企画に活かす。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第3回	ファッション・トレンド情報 2 カラー情報	カラー情報の種類とその特徴を学び、配色に反映する。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第4回	ファッション・トレンド情報 3 ファッション・イメージとその分類	ファッション・イメージの意味と分類、そのビジュアル構成に活用する。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第5回	ライフスタイル情報1 ライフスタイルとその分類	ライフスタイルの意味とその種類を学び、生活提案に活かす。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第6回	ライフスタイル情報2 ライフオケージョンとその分類	ライフオケージョンの意味とその種類を知り、商品企画に活かす。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第7回	マーケット情報1 ラグジュアリーブランド1	ラグジュアリーブランドの特徴を学び、ビジネスセンスを磨く。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第8回	マーケット情報2 ラグジュアリーブランド2	ラグジュアリーブランドの特徴を学び、ビジネスセンスを磨く。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第9回	マーケット情報3 SPA 型企業	SPA の代表的な企業の事業展開を通して時代に合うビジネス開発の方法を身につける。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第10回	マーケット情報4 ソーシャル・メディア	ソーシャル・メディアの代表的な事例を通して、SNS の影響力と情報発信の仕方を体得する。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第11回	実習ワーク1	企画ワークの実習を集中的に行って現場力を身につける。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第12回	実習ワーク2	企画ワークの実習を集中的に行って現場力を身につける。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第13回	実習ワーク3	企画ワークの実習を集中的に行って現場力を身につける。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第14回	実習ワーク4	企画ワークの実習を集中的に行って現場力を身につける。	授業の内容を確認して質問がないか検討する。 次回の授業の情報収集をして準備する。
第15回	総括	全体的な授業のまとめをする	科目全体の内容を振り返って、質問や疑問などが無いか確認する。

科目名 Subject	サロン実習 I Beauty Salon Practice I		教員名	長谷川	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	90
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	美容に関する基礎理論・知識を踏まえ、サロンワークにおける、アシスタントワークの基礎技術を実習を通して学ぶ。				
授業の目標	サロンワークのうち、シャンプー・マッサージ・ブローイング・ヘアカラー剤塗布までの技術、接客並びに高齢者への対応を確実に習得する。				
時間外学習 (予習・復習)	予習においては各回資料判例を集め、復習においては授業の反省点等をまとめたレポート作成や実技の練習を行う。この復習については60分～90分程度の時間を要することを想定しています。				
教科書・教材	教科書	無し			
	教材	美容用具一式			
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献	無し			
評価方法	授業態度 70% 作品 20% レポートファイリング 10%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業の一環として、美容の技術を生かしたボランティア活動や地域に貢献する活動を行います。				
本科履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション	授業の内容を把握し、サロンワークに必要な基礎知識・注意事項を理解する。	自信が顧客として体験したレセプションサービスについてまとめておく。
第2回	レセプションについて学ぶ① お互いが顧客とレセプションになり実践する。	お出迎えとお見送りの心を学び体験する	姿勢、声のトーンに着目してきせつと思うことをまとめる。
第3回	②レセプションについて学ぶ お互いが顧客とレセプションになり実践する。	顧客名、日時、施術内容、指名技術者の有無、仕上がり時間等実際の流れを知り修得する。	スマホ・iPad等を使用して予約を取る練習、簡単なカルテを作成する。
第4回	③レセプションについて学ぶ お互いが顧客とレセプションになり実践する。	謙譲語・尊敬語・丁寧語を使用し場面に応じた言葉使いを取得する。	高齢者、子供を対象とした言葉使いを考えレポートにまとめる。
第5回	シャンプー剤について学ぶ	シャンプー剤に含まれる成分を学び理解する。	自身または家族が使用するシャンプーの成分表等～その特徴を、まとめる。
第6回	リンス剤について学ぶ	成分を知り施術をし合い効果を理解する。	5社以上のリンス剤の成分を調べ特徴をレポートにまとめる。
第7回	トリートメント剤について学ぶ	成分を知り施術をし合い効果を理解する。	リンス剤との違いをレポートにまとめる。
第8回	シャンプーの実践(1)ショートヘアシャンプーイングについて学ぶ(理論)	毛量長さに適したシャンプー剤の量や油圧を理解する。	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第9回	シャンプーの実践(2)ショートヘアシャンプーイングについて学ぶ(ウィッグ使用)	実際にショートヘアのウィッグを使い適切な指使い、湯圧を理解する。	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第10回	シャンプーの実践(3)ミディアム～ロングヘアシャンプーイングについて学ぶ(理論)	毛量長さに適したシャンプー剤の量や油圧を理解する。	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第11回	シャンプーの実践(4)ミディアム～ロングヘアシャンプーイングについて学ぶ	ウィッグを使用して適切な指使い、湯圧を理解する。	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第12回	シャンプーの実践(5)パーマヘアシャンプーイングについて学ぶ(理論)	カールの強さやダメージに合わせたシャンプー剤の選び方を理解する。	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第13回	シャンプーの実践(6)パーマヘアシャンプーイングについて学ぶ(ウィッグ使用)	ウィッグを使用して適切な指使い、湯圧を理解する	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第14回	シャンプーの実践(7)カラーリングヘアのシャンプーイングについて学ぶ(理論)	退色やダメージに合わせたシャンプー剤の選び方を理解する。	ウィッグを使用し、指使い等を練習する。
第15回	シャンプーの実践(7)カラーリングヘアのシャンプーイングについて学ぶ	ウィッグを使用して適切な指使い、湯圧を理解する	シャンプーイングについて学んだ内容をまとめレポートにする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	サイドシャンプー（1）人頭によるシャンプーイングを学ぶ（セッティング）	お互いをモデルにし、セッティング技術を取得する。	セッティングに際して重要と思われる点をまとめておく。
第17回	サイドシャンプー（2）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし、シャワーヘッドの扱い、水圧コントロールを理解する。	家庭内のシャワーヘッドの形状とすいあつの違いをまとめておく。
第18回	サイドシャンプー（3）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし、シャンプー剤の種類による指使いを理解する。	ダメージ用・保湿用その他過程にあるシャンプー剤を使用し指通りを確かめる。
第19回	サイドシャンプー（4）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さ別の洗い方（指使い）を理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第20回	サイドシャンプー（5）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さ別の洗い方（指使い）を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第21回	サイドシャンプー（6）人頭によるシャンプーイングを学ぶ。	毛量、長さ別の洗い方（指使い）を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第22回	サイドシャンプー（7）人頭によるシャンプーイングを学ぶ。	毛量、長さ別の洗い方（指使い）を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第23回	サイドシャンプー（8）人頭によるシャンプーイングを学ぶ。	毛量、長さに合わせた水圧・水温を理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第24回	サイドシャンプー（9）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さに合わせた水圧・水温を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第25回	サイドシャンプー（10）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さに合わせた水圧・水温を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第26回	サイドシャンプー（11）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	施術内容別シャンプーイングを理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第27回	サイドシャンプー（12）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	ヘアカラー施術前・後のシャンプーイングを理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第28回	サイドシャンプー（13）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	パーマ施術前・後のシャンプーイングを理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第29回	サイドシャンプー（14）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	パーマ施術前・後のシャンプーイングを理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第30回	サイドシャンプー（15）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	エクステンションヘアのシャンプーイングを理解し取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	バックシャンプー（1） ウィッグによる手順説明	ウィッグを使用して手順を覚え指通りを理解する。	サイドシャンプーとの違いを理解し、相違点をまとめる。
第32回	バックシャンプー（2） 人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし、シャワーヘッドの扱い、水圧コントロールを理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第33回	バックシャンプー（3）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし、シャワーヘッドの扱い、水圧コントロールを理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第34回	バックシャンプー（4）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし、シャンプー剤の種類による指使いを理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第35回	バックシャンプー（5）人頭によるシャンプーイングを学ぶ	パーマ施術前・後のシャンプーイングを理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第36回	バックシャンプー（6）人頭によるシャンプーイングを学ぶ。	パーマ施術前・後のシャンプーイングを理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第37回	バックシャンプー（7）人頭によるシャンプーイングを学ぶ。	エクステンションヘアのシャンプーイングを理解し取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第38回	毛髪を乾かす手法と効果を学ぶ	自然乾燥とドライヤーによる乾燥の相違点並びに適切なテクニックを習得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第39回	用具（ブローブラシの使用目的と使用方法学ぶ	毛髪の状態に合わせたスタイリング方法を取得する	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第40回	カラーリング（1）バージンヘア（染めていない毛髪）のカラー剤塗布方法を学ぶ	カラー剤塗布技術を確実に習得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第41回	カラーリング（2）リタッチテクニック（新生毛に対するカラー剤塗布方法を学ぶ	既染毛と新生毛を区別し確実な塗布技術を習得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第42回	カラーリング（3）白髪（グレイヘア）の塗布方法について学ぶ	白髪（グレイヘア）を理解し塗布技術を取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第43回	カラーリング（4-1）ヘアマニキュア塗布方法を学ぶ	ヘアマニキュアを理解しワンタッチ技術を取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第44回	カラーリング（4-2）ヘアマニキュア塗布方法を学ぶ	ヘアマニキュアを理解しツウタッチ技術を取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめる。
第45回	纏めと振り返り	各自不得意な部分または理解が足りていない部分において復讐質問し確実に理解する。	全体を通しての反省点、感想をまとめる。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第46回	ドリームシャンプー（1） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	技術者が座って施術できるシ ャンプーイングを理解し実践 する。	他のシャンプーイングとの相違点 を理解し、レポートにまとめる。
第47回	ドリームシャンプー（2） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	お互いをモデルにし、シャンプ ー剤の種類による指使いを理 解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第48回	ドリームシャンプー（3） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	毛量、長さ別の洗い方（指使い） を理解し、取得する	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第49回	ドリームシャンプー（4） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	毛量、長さ別の洗い方（指使い） を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第50回	ドリームシャンプー（5） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	毛量、長さ別の洗い方（指使い） を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第51回	ドリームシャンプー（6） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	毛量、長さ別の洗い方（指使い） を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第52回	ドリームシャンプー（7） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	毛量、長さに合わせた水圧・水 温を理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第53回	ドリームシャンプー（8） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	毛量、長さに合わせた水圧・水 温を理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第54回	ドリームシャンプー（9） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	施術内容別シャンプーイング を理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第55回	ドリームシャンプー（1） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	ヘアカラー施術前・後のシャンプ ーイングを理解し、取得す る。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第56回	ドリームシャンプー（10） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	パーマ施術前・後のシャンプ ーイングを理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第57回	ドリームシャンプー（11） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	パーマ施術前・後のシャンプ ーイングを理解し、取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第58回	ドリームシャンプー（12） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	エクステンションヘアのシャンプ ーイングを理解し取得す る。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第59回	ドリームシャンプー（13） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	幼児・児童・高齢者を想定した シャンプーイングを理解する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。
第60回	ドリームシャンプー（14） フルフラットシャンプーイン グを学ぶ	幼児・児童・高齢者を想定した シャンプーイングを取得する。	実習の反省点、次回改善点をまとめ る。

科目名 Subject	サロン実習Ⅱ Beauty Salon PracticeⅡ		教員名	長谷川	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	90
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	サロンワークⅠにおいて習得した基礎技術を基とし、実習を通して、アシスタントワークの応用技術(シャンプー・基礎ヘアカット・パーマメント・カラー薬剤調合(加齢による白髪グレイヘア含む)・フィニッシング技術等)を学ぶ。				
授業の目標	サロン実習Ⅰで学んだ技術をより確実にする。 シャンプー(加齢による過敏頭皮への対応等含む)からスタイリングまでの一連の流れを学び、幅広い年齢層に対し現場でトップアシスタントとして動ける技術・知識を身につける。				
時間外学習 (予習・復習)	授業内で学んだ事柄を項目ごとに分け、まとめ、感想を書く。 このレポート作成については60分～90分程度の時間を要することを想定しています。				
教科書・教材	教科書	美容技術指導法(技術編)編集発行山野美容短期大学			
	教材	美容用具一式			
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献				
評価方法	授業態度 70% 作品 20% レポートファイリング 10%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業の一環として美容技術を生かし他ボランティア活動や地域に貢献する活動を行います。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション 内容説明（トップアシスタントとしてサロンで働けるレベルを目指し学ぶ）	授業の内容を把握し、サロンワークに必要な基礎知識・注意事項を理解する。	オリエンテーションの内容を項目ごとに分類しレポートにまとめる・。
第2回	フルフラットシャンプー(1)人頭によるシャンプーイングを学ぶ	お互いをモデルにし、シャワーヘッドの扱い、水圧コントロールを理解する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第3回	フルフラットシャンプー(2)人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さに合わせて水圧・水温を理解し、取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第4回	フルフラットシャンプー(3)人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さに合わせて水圧・水温を理解し、取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第5回	フルフラットシャンプー(4)人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さに合わせて水圧・水温を理解し、取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第6回	フルフラットシャンプー(5)人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さに合わせて水圧・水温を理解し、取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第7回	フルフラットシャンプー(6)人頭によるシャンプーイングを学ぶ	毛量、長さに合わせて水圧・水温を理解し、取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第8回	高齢者シャンプー（1）頭皮の状態に合わせたシャンプーイングを学ぶ	刺激を与えないシャンプーイングを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第9回	高齢者シャンプー（2）頭皮の状態に合わせたシャンプーイングを学ぶ	頭皮の状態に適したシャンプー剤の選び方を理解し、取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第10回	レベルアップサイドシャンプーを学ぶ。	毛髪、頭皮の状態を素早く把握し短時間で施術できるようになる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第11回	レベルアップバックシャンプーを学ぶ	立ち位置力の配分主に高齢者を想定した技術を取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第12回	首肩背中周りのマッサージを学ぶ。	指圧、手掌による圧迫等を使用しマッサージ技術を理解し取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第13回	ヘッドマッサージを学ぶ	指圧、手掌による圧迫等を使用しマッサージ技術を理解し取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第14回	ヘアスタイリング剤について学ぶ。	スプレー、ムース、ジェル、ワックスの用途別使用法を理解し、取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第15回	ヘアスタイリング剤べつの使用法を学ぶ。	実際に使用してヘアスタイルを作る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	ブロー・スタイリング(1) ドライヤーの構造を学ぶ	構造を理解し風量・熱量の操作技術を取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第17回	ブロー・スタイリング(2) ブローブラシについて学ぶ	相モデルでデンマンブラシ・ロールブラシ・スケルトンブラシの構造特性を理解し、操作技術を取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第18回	ブロー・スタイリング(3) ショートスタイルを学ぶ	ウイッグを使用してデンマンブラシでショートスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第19回	ブロー・スタイリング(3) ショートスタイルを学ぶ	ウイッグを使用してフィンガーブローテクニックを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第20回	ブロー・スタイリング(4) ショートスタイルを学ぶ	ウイッグを使用し、ロールブラシでショートスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第21回	ブロー・スタイリング(5) ショートスタイルを学ぶ	パーマウイッグを使用し、スケルトンブラシとロールブラシでショートスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第22回	ブロー・スタイリング(6) ボブスタイルを学ぶ(ショート)	ウイッグを使用し、ショートボブスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第23回	ブロー・スタイリング(7) ボブスタイルを学ぶ(ミディアム)	ウイッグを使用し、ミディアムボブスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第24回	ブロー・スタイリング(8) ボブスタイルを学ぶ(ロング)	ウイッグを使用し、ロングボブスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第25回	ブロー・スタイリング(9) グラデーションスタイルを学ぶ(ロー)	ウイッグを使用し、ローグラデーションスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第26回	ブロー・スタイリング(10) グラデーションスタイルを学ぶ(ミディアム)	ウイッグを使用し、ミディアムグラデーションスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第27回	ブロー・スタイリング(11) グラデーションスタイルを学ぶ(ハイ)	ウイッグを使用し、ハイグラデーションスタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第28回	ブロー・スタイリング(12) レイヤースタイルを学ぶ(ロー)	ウイッグを使用し、ローレイヤースタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第29回	ブロー・スタイリング(13) レイヤースタイルを学ぶ(ミディアム)	ウイッグを使用し、ミディアムレイヤースタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第30回	ブロー・スタイリング(14) レイヤースタイルを学ぶ(ハイ)	ウイッグを使用し、ハイレイヤースタイルを仕上げる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	基礎カット（1）ワンレングスカットを学ぶ（水平）	ウィッグを使用し、水平なワンレングスカットを取得する。	シザーズの開閉動作確認反復練習作品に対する感想、反省点、改善点をまとめる。
第32回	基礎カット（1）ワンレングスカットを学ぶ（前下がり）	ウィッグを使用し、前下がりのワンレングスカットを取得する。	シザーズの開閉動作確認反復練習作品に対する感想、反省点、改善点をまとめる。
第33回	基礎カット（1）ワンレングスカットを学ぶ（後ろ下がり）	ウィッグを使用し、後ろ下がりのワンレングスカットを取得する。	シザーズの開閉動作確認反復練習作品に対する感想、反省点、改善点をまとめる。
第34回	基礎カット（2）グラデーションカット（水平）を学ぶ	ウィッグを使用し、水平なグラデーションカットを取得する。	シザーズの開閉動作確認反復練習作品に対する感想、反省点、改善点をまとめる。
第35回	基礎カット（1）グラデーションカットを学ぶ（前下がり）	ウィッグを使用し、前下がりのグラデーションスカットを取得する。	シザーズの開閉動作確認反復練習作品に対する感想、反省点、改善点をまとめる。
第36回	基礎カット（1）グラデーションカットを学ぶ（後ろ下がり）	ウィッグを使用し、後ろ下がりのグラデーションスカットを取得する。	シザーズの開閉動作確認反復練習作品に対する感想、反省点、改善点をまとめる。
第37回	ヘアカラー薬剤調合を学ぶ	求める発色が得られる薬剤の調合比率を理解し取得する。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・
第38回	ブリーチ（脱色）について学ぶ	スウォッチ（毛束）を使用しブリーチ見本を作る。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・
第39回	ヘアマニキュアについて学ぶ	スウォッチ（毛束）を使用しヘアマニキュア見本を作る。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・
第40回	白髪染め（グレイヘアカラーリング）について学ぶ	スウォッチ（毛束）を使用しグレイヘア見本を作る。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・
第41回	パーマントウエーブ（1）ウエーブまたはカールの大きさについて学ぶ	太さの違うロッドから得られるウエーブまたはカールの違いを理解する。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・
第42回	パーマントウエーブ（2）薬液の種類について学ぶ	ノーマルヘア・ダメージヘア用のやくえきのちがいw理解する。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・
第43回	パーマントウエーブ（3）パーマをかける（ショートウィッグ）	指定されたウエーブ又はカールが得られる様にロッドを選ぶことができる。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・
第44回	パーマントウエーブ（3）パーマをかける（ロングウィッグ）	指定されたウエーブ又はカールが得られる様にロッドを選ぶことができる。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・
第45回	まとめ カットパーマまたは、カットカラー作品を作成する。	サロン実習Ⅱで学んだ知識、技術のレベルアップが自覚、確認ができる。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめればーとを作る・

科目名 Subject	サロン実習Ⅲ Beauty Salon PracticeⅢ		教員名	長谷川	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	90
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	<p>実習を通してこれまでの技術のスキルを上げるとともに、応サロン実習Ⅰ・Ⅱで学んだ技術をより確実なものにし、モデルを中心とした実習によりさらに高度なテクニックをを学びレベルアップを目指す。</p>				
授業の目標	<p>実習を通して、接客に必要なコミュニケーション力（幼児から高齢者まで）を養いシャンプーからスタイリングまでの一連の流れをより深く学び技術を確実にする。</p>				
時間外学習 （予習・復習）	<p>授業内で学んだ内容を毎回感想・反省点・改善点別にレポートにまとめる。このレポート作成については60分～90分程度の時間を要することを想定しています。</p>				
教科書・教材	教科書	美容技術指導法（技術編）編集発行山野美容短期大学			
	教材	美容用具一式			
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献				
評価方法	授業態度30%作品の完成度60%レポート10%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業の一環として美容技術を生かし他ボランティア活動や地域に貢献する活動を行います。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション実習内容の説明（パーマ・セット・アップスタイリング）	実習内容を把握し理解する。	オリエンテーションの内容を項目ごとに分類しレポートにまとめる。
第2回	モデルシャンプー（1）スタイリング剤の落とし方を学ぶ	スタイリング剤に適したシャンプー剤を使用し的確よごれを落とすことができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第3回	モデルシャンプー（2）目標時間内でシャンプーをする（ショートヘア 20分）	サイドシャンプー技術で目標時間内にシャンプーを終わらせることができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第4回	モデルシャンプー（3）目標時間内でシャンプーをする（ショートヘア 15分）	サイドシャンプー技術で目標時間内にシャンプーを終わらせることができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第5回	モデルシャンプー（4）目標時間内でシャンプーをする（ミディアムヘア 20分）	サイドシャンプー技術で目標時間内にシャンプーを終わらせることができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第6回	モデルシャンプー（5）目標時間内でシャンプーをする（ミディアムヘア 15分）	サイドシャンプー技術で目標時間内にシャンプーを終わらせることができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第7回	モデルシャンプー（7）目標時間内でシャンプーをする（ロングヘア 25分）	サイドシャンプー技術で目標時間内にシャンプーを終わらせることができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第8回	モデルシャンプー（8）目標時間内でシャンプーをする（ロングヘア 20分）	サイドシャンプー技術で目標時間内にシャンプーを終わらせることができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第9回	リンス（1）ヘアカラー剤塗布後のリンスを学ぶ	頭皮、生え際等に薬剤が残らないようにリンスできる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第10回	リンス（2）パーマ施術後のリンスを学ぶ	頭皮、生え際等に薬剤が残らないようにリンスできる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第11回	スカルプトリートメントを学ぶ。物理的・科学的な方法のデモンストレーション	物理的方法・科学的方法の理解実施術ができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第12回	サロントリートメントとホームトリートメントの違いについて学ぶ	実際にそれぞれの方法を行い効果の違いを理解できる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第13回	アウトバストリートメントを学ぶ	あうとばすトリートメントを理解し施術できる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第14回	トリートメント施術（1）遠赤外線機器使用した効果を学ぶ	実際に機器を使用し施術ができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第15回	トリートメント施術（2）スチーマー機器使用した効果を学ぶ	実際に機器を使用し施術ができる。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	モデルカット(1) トリミング&ブロースタイリングを学ぶ	トリミング&ブロースタイリングでてにくくを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第17回	モデルカット(2) ボブカットを学ぶ(水平)	ボブカット(水平)を理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第18回	モデルカット(3) ワンレングスカットコンベックスラインを学ぶ。	ワンレングスカットコンベックスラインを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第19回	モデルカット(4) ワンレングスコンケーブラインカットを学ぶ	ワンレングスカットコンケーブラインカットを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第20回	モデルカット(5) グラデーションカットコンケーブラインを学ぶ	グラデーションカットコンケーブラインを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第21回	モデルカット(6) シマッシュルームカットを学ぶ。	マッシュルームカット理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第22回	モデルカット(7) ショートレイヤーカットを学ぶ。	ショートレイヤーカット理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第23回	モデルカット(8) ロングレイヤーカットを学ぶ	ロングレイヤーカットを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第24回	モデルカット(9) セイムレイヤーカットを学ぶ。	セイムレイヤーカットを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第25回	モデルブロー(1) ワンレングス内巻き・外巻きを学ぶ。	ワンレングス内巻き・外巻きブローを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第26回	モデルブロー(2) グラデーション後方流し・前方流しを学ぶ。	グラデーション後方流し・前方流しを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第27回	モデルブロー(3) ショートレイヤー後方流し・前方流しを学ぶ。	ショートレイヤー後方流し・前方流しを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第28回	モデルブロー(4) ロングレイヤー後方流し・前方流しを学ぶ。	ロングレイヤー後方流し・前方流しを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第29回	モデルブロー(5) パーマヘアスタイリングを学ぶ	モデルブロー(5) パーマヘアスタイリングを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第30回	モデルブロー(6) くせ毛・縮毛のスタイリングを学ぶ。	くせ毛・縮毛のスタイリングを理解し完成することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	モデルブロー（7）ロールブラシを使用したスタイリングを学ぶ	ロールブラシを称したスタイリングテクニックを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第32回	モデルブロー（8）スケルトンブラシを使用したスタイリングを学ぶ	スケルトンブラシを使用したスタイリングテクニックを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第33回	モデルによるヘアカラー（1）ワンタッチテクニックを学ぶ	ワンタッチテクニックを習得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第34回	モデルによるヘアカラー（2）ツータッチテクニックを学ぶ	ツータッチテクニックを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第35回	モデルによるヘアカラー（3）ブリーチテクニックを学ぶ	ブリーチテクニック取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第36回	モデルによるヘアカラー（4）ウイーピングテクニックを学ぶ	ウイーピングテクニックを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第37回	モデルによるヘアカラー（5）ローライトテクニックを学ぶ	ローライトテクニックを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第38回	モデルによるヘアカラー（6）ハイライトテクニックを学ぶ	ハイライトテクニックを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第39回	モデルによるヘアカラー（7）グレイヘア50%テクニックを学ぶ	グレイヘア50%テクニックを取得する。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第40回	モデルによるパーマ（1）ソフトカールを学ぶ	ソフトカールを理解し施術することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第41回	モデルによるパーマ（2）ハードカールを学ぶ	ハードカールを理解し施術することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第42回	モデルによるパーマ（3）ロングヘアデザイン巻きを学ぶ	ロングヘアデザイン巻きを理解し施術することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第43回	モデルによるパーマ（4）ショートヘアデザイン巻きを学ぶ	ショートヘアデザイン巻きを理解し施術することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第44回	モデルによるパーマ（5）ストレートパーマを学ぶ	ストレートパーマを理解し施術することが出来る。	授業の内容を反省点、改善点別にまとめ、感想を書く
第45回	まとめ モデルにカットパーマまたは、カットカラーを施術する。	サロン実習Ⅲで学んだ知識、技術のレベルアップが自覚、確認ができる。	授業に対する感想、反省点、改善点をまとめれば一とを作る。

科目名 Subject	サロン実習Ⅳ Beauty Salon PracticeⅣ		教員名	長谷川	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	90
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	サロン実習Ⅲで取得した技術を基にモデルを中心とし、経験値を積む、また新たにセットスタイリング（アップスタイル・ダウンスタイル）を学ぶ				
授業の目標	初級技術者として必要な接遇・技術力を取得する				
時間外学習 （予習・復習）	授業毎に内容をまとめ感想、改善点反省点等を加えファイリングしておくこのレポート作成については60分～90分程度の時間を要することを想定しています。				
教科書・教材	教科書	無し			
	教材	美容道具一式			
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献	無し			
評価方法	出席状況 50%授業態度 20%作品 20 レポートファイリング 10%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業の一環として美容技術を生かしたボランティア活動へ参加します。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション 授業内容説明他	授業内容を理解する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。(レセプシ ョン)
第2回	レセプション(1) サロン実 習Ⅰ～Ⅲで得たスキルを使用 しシミュレーション	受付業務を相モデルでスムー ズに行く。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第3回	レセプション(2) サロン実 習Ⅰ～Ⅲで得たスキルを使用 しシミュレーション	電話対応・クレーム対応・高齢 者対応等相モデルでスムー ズに行く。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第4回	アシスタント業務(1) ヘルプ 顧客誘導について学ぶ	アシスタント業務を理解しス ムーズに行える。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第5回	アシスタント業務(2) ヘル プの役割、動きについて学ぶ	機材操作把握・薬剤管理につ いて理解する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第6回	カウンセリングにについて学 ぶ	顧客の要望を聞きカルテ、シー トとうに記録しスタイリスト に伝えられる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第7回	ヘアセッティング(1) ホッ トカーラー・ショートダウ ンスタイルを学ぶ	ショートダウンスタイル用の カーラー巻きがスムーズに行 える。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第8回	ヘアセッティング(2) ホッ トカーラー・ミデアムダウ ンスタイルを学ぶ	ミデアムダウンスタイル用の カーラー巻きがスムーズに行 える。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第9回	ヘアセッティング(3) ホッ トカーラー・ロングダウ ンスタイルを学ぶ	ロングダウンスタイル用のカ ーラー巻きがスムーズに行 える。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第10回	ヘアセッティング(4) 網カ ーラー&アームドライヤーを 学ぶ(ショートスタイル)	網カーラーを使用してアーム ドライヤーによるセッティ ングができる	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第11回	ヘアセッティング(5) 網カ ーラー&アームドライヤーロ ングダウンスタイルを学ぶ	網カーラーを使用してアーム ドライヤーによるセッティ ングができる	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第12回	ヘアセッティング(6) カー リングアイロンテクニック シ ョートスタイルを学ぶ	カーリングアイロンを安全に 使用してショートスタイル作 ることが出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第13回	ヘアセッティング(7) カー リングアイロンテクニックロ ングスタイルを学ぶ	カーリングアイロンを安全に 使用してロングスタイル作 ることが出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第14回	ヘアセッティング(8) スト レートアイロンテクニックシ ョートスタイルを学ぶ	ストレートアイロンを安全に 使用してスタイルを作ること ができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第15回	ヘアセッティング(9) スト レートアイロンテクニックロ ングスタイル	ストレートアイロンを安全に 使用してスタイルを作ること ができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	ヘアセッティング(10) スクラッチワークテクニックを学ぶ	スクラッチワークテクニックを理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第17回	ブレイドテクニック(1) フィッシュテールテクニックを学ぶ	フィッシュテールテクニックを理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第18回	ブレイドテクニック(2) バスケット編みテクニックを学ぶ	バスケット編みテクニックを理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第19回	ブレイドテクニック(3) ウォーターホール・四つ編みテクニックを学ぶ	ウォーターホール・四つ編みテクニックを理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第20回	ブレイドテクニック(4) ソフトロープ・タイトロープテクニックを学ぶ	ソフトロープ・タイトロープテクニックを理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第21回	ブレイドテクニック(5) 1～4のテクニックを使用してさくひんを作る。	ブレイドテクニックを使用しオリジナル作品を完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第22回	ツイストテクニックを学び作品を作る(エスカルゴ他)	ツイストテクニックを使用してまとめ髪が作品を完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第23回	コーンローテクニックを学び作品を作る	コーンローテクニックを使用して作品完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第24回	アップスタイル(1) ドレストヘア(逆毛を使用しないアップ)を学ぶ	逆毛をしようせずにあつぷすたいるを完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第25回	アップスタイル(2) ドレストヘアシニヨンスタイル	ドレストヘアテクニックを使用してシニヨンスタイルを完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第26回	アップスタイル(3) ドレストヘア最小限のピンで留めるテクニックを学ぶ	少ないピン数でアップスタイルを完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第27回	オリジナルアップスタイル(1) パーティーヘアを学ぶ	パーティーを完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第28回	オリジナルアップスタイル(2) 和服用アップスタイルを学ぶ(卒業・入学式)	面を整えてアップスタイルを完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第29回	オリジナルアップスタイル(3) 七五三・成人式を学ぶ	可愛さと華やかさを考えながらアップスタイル完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第30回	オリジナルアップスタイル(1) トレンドを学ぶ	トレンドヘアを完成させることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	動物をモチーフにした作品を学ぶ	作品作りのヒントを得る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第32回	自然をモチーフにした作品を学ぶ	作品作りのヒントを得る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第33回	機械的・建造物をモチーフにした作品を学ぶ。	作品作りのヒントを得る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第34回	作品制作(1) 様々なものからヒントを得て計画を立てる	作品作りのヒントを得る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第35回	作品制作(2) 色彩について学び、計画を立てる	作品作りのヒントを得る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第36回	作品制作(3) 装飾、飾りについて学び計画を立てる	作品作りのヒントを得る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第37回	作品制作(4) 計画に基づいて作業する	作品作り	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第38回	作品制作(4) 計画に基づいて作業する	作品作り	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第39回	作品制作(4) 計画に基づいて作業する	作品作り	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第40回	作品制作(4) 計画に基づいて作業する	作品作り	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第41回	作品制作(4) 計画に基づいて作業する	作品作り	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第42回	作品制作(4) 計画に基づいて作業する	作品作り	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第43回	作品制作(4) 計画に基づいて作業する	作品作り	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第44回	作品制作(4) 計画に基づいて作業する	作品作り	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第45回	作品制作(4) 計画に基づいて作業し完成させる。	作品完成	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。

科目名 Subject	ヘアテクニック I Hairstyling Techniques I		教員名	長谷川	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	120
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	サロン技術者としての実務レベルに準じたカット&ブロー技術等を指導する				
授業の目標	美容師(技術者)として成長していくプロセスの中で、本実習では、サロン技術の応用(実務)分野においてテクニカルだけにとどまらず、美容という観点から創造性や芸術性に至るまでの技術を習得する。				
時間外学習 (予習・復習)	学ぶ内容が自身のオシャレ直接関係することなので街中の流行色特、ヘアカラーの傾向市場で販売されているヘアカラー用剤の種類等をウォッチングするなどして気になる情報をファイリングする。このレポート作成については60分～90分程度の時間を要することを想定しています。				
教科書・教材	教科書	美容技術理論 I・II 日本理容美容教育センター編 2017			
	教材				
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献				
評価方法	サイエンス・ケミカル・スキルの理解度(正確さ・丁寧さ・スピード etc) 70% 基礎的な美学の諸要素と造形としての表現 10% テクニカルスキルの習得度 20%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業の一環として美容技術を生かし他ボランティア活動や地域に貢献する活動を行います。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	ワンレングスカット（1）スクエアを学ぶ	ワンレングススタイル（1）を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第2回	ワンレングスカット（1）スクエアを学ぶ	ワンレングススタイル（1）を習得	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第3回	ワンレングススタイル（2）（Uライン）を学ぶ	ワンレングススタイル（2）を習理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第4回	ワンレングススタイル（2）（Uライン）を学ぶ	ワンレングススタイル（2）を習得	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第5回	ワンレングススタイル（3）（Aライン）を学ぶ	ワンレングススタイル（3）を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第6回	ワンレングススタイル（3）（Aライン）を学ぶ	ワンレングススタイル（3）を習得	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第7回	グラデーションスタイル（1）（ローグラデーション）	グラデーションスタイル（1）を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第8回	グラデーションスタイル（1）（ローグラデーション）を学ぶ	グラデーションスタイル（1）を取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第9回	グラデーションスタイル（2）（ローグラデーション）を学ぶ	グラデーションスタイル（2）を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第10回	グラデーションスタイル（2）（ローグラデーション）を学ぶ	グラデーションスタイル（2）を取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第11回	グラデーションスタイル（3）（ミディアムグラデーション）を学ぶ	グラデーションスタイル（3）を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第12回	グラデーションスタイル（3）（ミディアムグラデーション）を学ぶ	グラデーションスタイル（3）を取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第13回	グラデーションスタイル（4）（グラデーションポップ）を学ぶ	グラデーションスタイル（4）を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第14回	グラデーションスタイル（4）（グラデーションポップ）を学ぶ	グラデーションスタイル（4）を取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第15回	レイヤースタイル（1）（5ポジション①）	レイヤースタイル（1）を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	レイヤースタイル(1) (5ポジション①)を学ぶ	レイヤースタイル を習得。	(1) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第17回	レイヤースタイル(2) (5ポジション②)を学ぶ	レイヤースタイル を理解する。	(2) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第18回	レイヤースタイル(2) (5ポジション②)を学ぶ	レイヤースタイル を習得。	(2) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第19回	レイヤースタイル(3)(5ポ ジション③)を学ぶ	レイヤースタイル を理解する。	(3) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第20回	レイヤースタイル(3)(5ポ ジション③)を学ぶ	レイヤースタイル を習得。	(3) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第21回	レイヤースタイル(4)(5ポ ジション④)を学ぶ	レイヤースタイル を理解する。	(4) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第22回	レイヤースタイル(4)(5ポ ジション④)を学ぶ	レイヤースタイル を習得。	(4) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第23回	レイヤースタイル(5)(5ポ ジション④)を学ぶ	レイヤースタイル を理解する。	(5) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第24回	レイヤースタイル(5)(5ポ ジション④)を学ぶ	レイヤースタイル を習得。	(5) 授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第25回	セიმレイヤースタイル (1)を学ぶ	セიმレイヤーカッ ト(1)を理解する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第26回	セიმレイヤースタイル (1)を学ぶ	セიმレイヤーカッ ト(1)を習得。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第27回	セიმレイヤースタイル (2)を学ぶ	セიმレイヤーカッ ト(2)を理解する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第28回	セიმレイヤースタイル (2)を学ぶ	セიმレイヤーカッ ト(2)を習得。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第29回	セიმレイヤースタイル (3)を学ぶ	セიმレイヤーカッ ト(3)を理解する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第30回	セიმレイヤースタイル (3)を学ぶ	セიმレイヤーカッ ト(3)を習得。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	コンビネーションカット (1) を学ぶ (ワンレングス+グラデーション)	コンビネーションカット (1) を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第32回	コンビネーションカット (1) を学ぶ (ワンレングス+グラデーション)	コンビネーションカット (1) を取得。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第33回	コンビネーションカット (2) を学ぶ (グラデーション+レイヤー)	コンビネーションカット (2) を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第34回	コンビネーションカット (2) を学ぶ (グラデーション+レイヤー)	コンビネーションカット (2) を取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第35回	コンビネーションカット (3) を学ぶ (レイヤー+ワンレングス)	コンビネーションカット (3) を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第36回	コンビネーションカット (3) を学ぶ (レイヤー+ワンレングス)	コンビネーションカット (3) を取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第37回	コンビネーションカット (3) を学ぶ (レイヤー+ワセიმレイヤー)	コンビネーションカット (3) を取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第38回	オリジナルカット (1)	オリジナルカット (1) を理解する	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第39回	オリジナルカット (1)	オリジナルカット (1) を習得。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第40回	オリジナルカット (2)	オリジナルカット (2) を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第41回	オリジナルカット (2)	オリジナルカット (2) を習得。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第42回	オリジナルカット (3)	オリジナルカット (3) を理解する	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第43回	オリジナルカット (3)	オリジナルカット (3) を習得。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第44回	カット技術確認 (カット 60分、仕上げ 30分)	チェックに合格し、モデルカットに入る許可を得ること。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第45回	カット技術確認 (カット 60分、仕上げ 30分)	チェックに合格し、モデルカットに入る許可を得ること。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第46回	モデルによるカット実践 長さ・毛量調整を学ぶ	長さ・毛量調整テクニックを取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第47回	モデルによるカット実践 長さ・毛量調整を学ぶ	長さ・毛量調整テクニックを取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第48回	モデルによるカット実践 長さ・毛量調整を学ぶ	長さ・毛量調整テクニックを取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第49回	モデルによるカット実践 長さ・毛量調整を学ぶ	長さ・毛量調整テクニックを取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第50回	モデルによるカット実践 長さ・毛量調整を学ぶ	長さ・毛量調整テクニックを取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第51回	モデルによるカット実践 長さ・毛量調整を学ぶ	長さ・毛量調整テクニックを取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第52回	モデルによるカット実践 スタイルチェンジを学ぶ	スタイルチェンジテクニック 取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第53回	モデルによるカット実践 スタイルチェンジを学ぶ	スタイルチェンジテクニック 取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第54回	モデルによるカット実践 スタイルチェンジを学ぶ	スタイルチェンジテクニック 取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第55回	モデルによるカット実践 スタイルチェンジを学ぶ	スタイルチェンジテクニック 取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第56回	モデルによるカット実践 スタイルチェンジを学ぶ	スタイルチェンジテクニック 取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第57回	モデルによるカット実践 スタイルチェンジを学ぶ	スタイルチェンジテクニック 取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第58回	モデルによるカット実践 スタイルチェンジを学ぶ	スタイルチェンジテクニック 取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第59回	モデルによるカット実践 スタイルチェンジを学ぶ	スタイルチェンジテクニック 取得する。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第60回	カット技術確認 (カット40分、仕上げ30分)	モデルカットに合格	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。

科目名 Subject	ヘアテクニックⅡ Hairstyling Techniques II		教員名	長谷川	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2
必修/選択	必修	授業形態	実習	時間	120
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ コミュニケーション
科目の概要	美容業界の動向と美容室においての、ヘアカールスペシャリスト（カラリスト）として必要な色彩と毛髪科学のカラーのケミカルパワーの理論（ヘッドワーク）・技術（ハンド・ワーク）・心構え（ハート・ワーク）の3分野に学ぶと共に、サロン技術の基礎分野において段階を踏まえながら確実にマスターしていく技術指導を実施する。				
授業の目標	人間の美的造形に影響を及ぼすヘアカラーとセットテクニックについて、色彩と毛髪の関係、ヘアカラーのカラーリングスキル、セットテクニックを習得し、将来美容業界で活躍可能な基礎内容を習得する。				
時間外学習 （予習・復習）	授業の内容をファイリングするとともに、学ぶ内容が自身のオシャレに直接関係することなので街中の流行やヘアカラーの傾向市場で販売されているヘアカラー用剤の種類等をウォッチングするなどして気になる情報を収集し、ファイリングする。このレポート作成については60分～90分程度の時間を要することを想定しています。				
教科書・教材	教科書	美容技術理論ⅠⅡ、カラリング・テクニックテキスト COLORS and COLORS（株 女性モード）			
	教材	ヘアカラー剤、刷毛、ウィッグ、ヘアスプレー、ピン類			
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献				
評価方法	サイエンス・ケミカル・スキルの理解度（正確さ・丁寧さ・スピード etc）40% 基礎的な美学の諸要素と造形表現の表現 20% テクニカルスキルの習得度 40%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	授業の一環として美容技術を生かしたボランティア活動や地域に貢献する活動を行います。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	セット理論	セットに対する応用理論を習得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第2回	Straight Volume Straight Volume + Indentation	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第3回	肌色・瞳の色・肌の質感などの外見的特徴に合わせるヘアカラーを学ぶ。	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第4回	肌色・瞳の色・肌の質感などの外見的特徴に合わせるヘアカラーを学ぶ。	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第5回	Curvature Volume + Indentation	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第6回	Half Oval Alternating Oblongs	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第7回	外見、ファッション、メイク、、嗜好、TPO、ヘアスタイル等を考慮したヘアカラーの提案方法を学ぶ。	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第8回	外見、ファッション、メイク、、嗜好、TPO、ヘアスタイル等を考慮したヘアカラーの提案方法を学ぶ。	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第9回	Conecting Line + Shapes	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第10回	Conecting Line + Shapes	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第11回	実習を通じて、さらにカウンセリング力と提案力向上方法を学ぶ。	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第12回	求める色を出すためのサイエンスを学ぶ。	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第13回	Conecting Line + Shapes	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第14回	Oblong, Indentation, Volume	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第15回	Oblong, Indentation, Volume	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	ビューティワークにおけるヘアカリストとしての役割を学ぶ	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第17回	美容業界の動向（過去・現在）を学ぶ	授業内容から未来を考える。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第18回	Volume, OblongOval, Indentation	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第19回	Circle, Triangle, Oval, Oblong	Design System	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第20回	毛髪科学と色彩の基本（1）東洋人・西洋人毛髪の相違について学ぶ	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第21回	毛髪科学と色彩の基本（2）アングルトンとヘアカラーの関係について学ぶ	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第22回	毛髪科学と色彩の基本（3）色の3原色とヘアカラーの関係について学ぶ	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第23回	Straight Volume	Solid Form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第24回	Straight / Carvature Volume	Solid Form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第25回	染色実習（1）各種ヘアカラー剤の相違を学ぶ	スウォッチを使用して各種ヘアカラー剤の相違を確認する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第26回	染色実習（2）各種ヘアカラー剤の相違を学ぶ	モデルウィッグを使用して各種ヘアカラー剤の相違を確認する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第27回	Classics Design 1, Variation	Solid Form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第28回	Classics Design 1, Variation	Solid Form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第29回	染色実習（3）ヘアカラー剤の色系を学ぶ	ヘアカラー剤の色系を把握する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第30回	染色実習（4）色彩の基礎と毛髪色の関係理論を学ぶ	色彩の基礎と毛髪色の関係理論を把握する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	Curvature Volume / Expanded Circle	Graduated form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第32回	Alternating Oblong / Horizontal	Graduated form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第33回	ヘアカラーリングテクニックのマスター（1）アルカリカラープロセスを学ぶ	ウィッグに対しバージンヘアを想定し正確な塗布を練習する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第34回	ヘアカラーリングテクニックのマスター（1）アルカリカラープロセスを学ぶ	ウィッグに対しバージンヘアを想定し正確な塗布が出来る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第35回	Classics Design 3, Variation	Graduated form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第36回	Curvature Volume / Indentation	Graduated form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第37回	ヘアカラーリングテクニックのマスター（2）ワンタッチ技法を学ぶ	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第38回	ヘアカラーリングテクニックのマスター（2）ツータッチ技法を学ぶ	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第39回	Straight Volume / Forward	Increase Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第40回	Directional Volume / Back	Increase Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第41回	似合うヘアカラー（1）パーソナルカラーをモデルデモンストレーションを通して学ぶ	パーソナルカラーを理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第42回	似合うヘアカラー（2）毛髪診断・分析・ケアを学ぶ	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第43回	Expanded Oval, Variation	Increase Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第44回	Classics Design 4, Variation	Increase Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第45回	ヘアカラーリングテクニックのマスター実践（バージンヘア・ショートモデル）	同伴モデルに毛髪診断～色の選択～ケアまでのイメージカラーを作成しそれに基づき施術し	モデルの施術前・後を写真と感想改善点反省点をファイリングする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第46回	モデルによるヘアカラーリング実力発表（プロセス他発表形式）（パージンヘア）	モデルによるプロセスの説明が出来る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第47回	Classics Design 5, Variation	Increase Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第48回	Straight / Curvature Volume	Uniformly Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第49回	ヘアカラーリングテクニックのマスター（3） （リタッチヘア or セミロングヘア）	授業内容を理解し取得する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第50回	モデルによるヘアカラーリング実力発表（プロセス他発表形式）（ショートヘア）	前回とは異なるモデルでプロセス及び修正点の説明が出来る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第51回	モデルによるヘアカラーリング実力発表（プロセス他発表形式）（リタッチヘア）	前回とは異なるモデルでプロセス及び修正点の説明が出来る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第52回	モデルによるヘアカラーリング実力発表（プロセス他発表形式）（ロングヘア）	前回とは異なるモデルでプロセス及び修正点の説明が出来る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第53回	Alternating Oblong, Variation	Uniformly Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第54回	Classics Design 6, Variation	Uniformly Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第55回	ヘアカラーリングテクニックのマスター（4） （ハイライトテクニック）を学ぶ」	モデルの顔形・髪形に対して効果的にローライト・ハイライトの施術が出来る。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第56回	Classics Design 7, Variation	Uniformly Layered form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第57回	Variation	Combination form Designing	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第58回	ヘアカラーリングテクニックのマスター（5） （ハイブリーチテクニック）を学ぶ」	ウィッグを使用してはいブリーチテクニックが施術できる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第59回	モデル同伴による自由制作（技術レベルチェック）	事前に内容を決め、内容に沿った結果が得られるようにする。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第60回	モデル同伴による自由制作（技術レベルチェック）	事前に内容を決め、内容に沿った結果が得られるようにする。	授業内容をまとめファイリングしていしゅつする。

科目名 Subject	ヘアデザイン I Hairstyling Design I		教員名	長谷川	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	3
必修/選択	選択	授業形態	実習	時間	120
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	美容師として成長していくプロセスの中で、本実習ではサロン技術の応用分野（セット・ロング～ショート、スタイル作成）において段階を踏まえながら確実にマスターしていく技術指導を実施する。				
授業の目標	美容に関する基礎理論・知識を再認識し、応用技術を効率的に習得する。				
時間外学習 (予習・復習)	授業内で学んだ事柄を項目ごとにファイリングし、個人用のテキストを作る。 このレポート作成については60分～90分程度の時間を要することを想定しています。				
教科書・教材	教科書	美容技術指導法（技術編）編集発行山野美容短期大学			
	教材	美容用具一式			
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献				
評価方法	授業態度 70% 作品 20% レポートファイリング 10%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意					
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	アップスタイル (基礎技術)(1-1) ピンの種類と留め方を学ぶ	アメリカピン・ボビピンの扱いと留め方を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第2回	アップスタイル (基礎技術)(1-2) ピンの種類と留め方を学ぶ	ネジピン・オニピンの扱いと留め方を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第3回	アップスタイル (基礎技術)(1-3) ピンの種類と留め方を学ぶ	スモールピン・毛ピンの扱いと留めかたを理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第4回	アップスタイル (基礎技術)(1-4) ピンの種類と留め方を学ぶ	アメリカピン・スモールピン玉無し・玉有りの扱いと留め方を理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第5回	アップスタイル (基礎技術)(2-1) ねじり留めを学ぶ	ねじり留めを理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第6回	アップスタイル (基礎技術)(2-2) クロス留めを学ぶ	クロス留めを理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第7回	アップスタイル (基礎技術)(2-3) 千鳥留めを学ぶ	千鳥留めを理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第8回	アップスタイル (基礎技術)(2-4) 追留めを学ぶ	追留めを理解する。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第9回	サイドの髪を留める (1-1) クロス留めを学ぶ	クロス留めテクニックでサイドの髪を留めることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第10回	サイドの髪を留める (1-2) ネジリ留めを学ぶ	ねじり留めテクニックでサイドの髪を留めることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第11回	前髪を留める(1-1) クロス留めを学ぶ	クロス留めテクニックで前髪を留めることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第12回	前髪を留める(1-2) ネジリ留めを学ぶ	ネジリ留めテクニックで前髪を留めることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第13回	面を留める(1-1) 追留めテクニックを学ぶ	追留めテクニックで面を留めることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第14回	面を留める(1-2) 千鳥留めテクニックを学ぶ	千鳥留めテクニックで面を留めることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第15回	面を留める(1-3) 隠しピン・隠し留めを学ぶ	隠し留めテクニックで面を留めることができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	ヘアブラシの種類と扱い方 (1) S字ブラシの使用法を学ぶ	S字ブラシの扱い方を理解し頭皮に対しての正しく使用できる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第17回	ヘアブラシの種類と扱い方 (2) クッションブラシの使用法を学ぶ	クッションブラシの扱い方を理解し頭皮に対しての正しく使用できる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第18回	アップスタイル・根の作り方 (1) 黒ゴムで根を作る方法を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第19回	アップスタイル・根の作り方 (2) 編み込みで根を作る方法を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第20回	アップスタイル・根の作り方 (3) アメリカピンで根を作る方法を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第21回	逆毛の種類と立て方 (1-1) 固定するための逆毛を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第22回	逆毛の種類と立て方 (1-2) 毛流れをコントロールする逆毛を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第23回	逆毛の種類と立て方 (1-3) 面をコントロールする逆毛を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第24回	逆毛の種類と立て方 (1-4) ショートスタイルの逆毛を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第25回	逆毛の種類と立て方 (1-1) ボリュームアップの逆毛を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第26回	ポニーテールを作る(1) トップポイントでの作り方を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第27回	ポニーテールを作る(2) ゴールデンポイントでの作り方を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第28回	ポニーテールを作る(3) トダウンポイントでの作り方を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第29回	ロールの種類と作り方(1) 重ねロールを学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。
第30回	ロールの種類と作り方(2) 並べロールを学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	夜会巻き(1) 本夜会を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第32回	夜会巻き(2) 合わせ夜会を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第33回	夜会まき(3) 斜め夜会を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第34回	面の整え方を学ぶ(リングコ ームとぶらしの使い分け)	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第35回	シニヨン(1) アップシニヨンを学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第36回	シニヨン(2) ミデアムシニヨンを学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第37回	シニヨン(3) ローシニヨンを学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第38回	新日本髪(1) 布天神を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第39回	新日本髪(1) 布天神を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第40回	新日本髪(1) 布天神を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第41回	新日本髪(2) 結綿を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第42回	新日本髪(2) 結綿を学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第43回	新日本髪(3) 桃割れを学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第44回	新日本髪(3) 桃割れを学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第45回	新日本髪(3) 桃割れを学ぶ	内容を理解して行うことができる。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第46回	ダウンスタイルセット(1) ロマンチックを学ぶ	アイロン等を使用しロールや ウエーブでスタイルを構成す ることが出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第47回	ダウンスタイルセット(1) ロマンチックを学ぶ	アイロン等を使用しロールや ウエーブでスタイルを構成す ることが出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第48回	ダウンスタイルセット(2) ドラマチックを学ぶ	アシンメトリーなデザイン・ロ ックテイストなデザインを作 ることが出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第49回	ダウンスタイルセット(2) ドラマチックを学ぶ	アシンメトリーなデザイン・ロ ックテイストなデザインを作 ることが出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第50回	ダウンスタイルセット(3) クラシックを学ぶ	整えられた面構成による通夜 の有るデザインを仕上げるこ とが出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第51回	ダウンスタイルセット(3) クラシックを学ぶ	整えられた面構成による通夜 の有るデザインを仕上げるこ とが出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第52回	モデルによるダウンスタイル 作品発表(プロセス他発表形 式)(ロマンチック)	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第53回	モデルによるダウンスタイル 作品発表(プロセス他発表形 式)(ドラマチック)	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第54回	モデルによるダウンスタイル 作品発表(プロセス他発表形 式)(クラシック)	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第55回	モデルによるアップスタイル 自由作品発表	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第56回	モデルによるアップスタイル 自由作品発表	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第57回	モデルによるアップスタイル 自由作品発表	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第58回	モデルによるアップスタイル 自由作品発表	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第59回	モデルによるアップスタイル 自由作品発表	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。
第60回	モデルによるアップスタイル 自由作品発表	モデルによるプロセスの説明 が出来る。	授業内容をまとめファイリングし 次回内容の予習をする。

科目名 Subject	ヘアデザインⅡ Hairstyling DesignⅡ		教員名	長谷川	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	3
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	120
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	美容作品の制作手法だけではなく、美術などのいろいろな手法を使い作品を制作していく。その作品を使用し展示会を開く。				
授業の目標	展示会出品レベルの作品制作ができる。				
時間外学習 (予習・復習)	復習＝授業内で学んだ事や作品の制作工程を写真や映像で記録しファイルを作る。 予習＝作品制作のヒントとなるものを探す。 ファイル作成と予習で60分～90分程度の時間を要することを想定しています。				
教科書・教材	教科書	無し			
	教材	美容用具一式			
	使用設備・備品	美容室			
	参考文献				
評価方法	授業態度50%作品30%ファイル20%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意					
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	作品作成準備 (絵画的手法) ペインティングを学ぶ。	ペインティング手法を理解する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第2回	作品作成準備(1) ペインティング、アクリル絵の具の使い方を学ぶ	アクリル絵の具を使用し ウイッグにペインティング 目標とする装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第3回	作品作成準備(1) ペインティング、アクリル絵の具の使い方を学ぶ	アクリル絵の具を使用し ウイッグにペインティング 目標とする装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第4回	作品作成準備(1) ペインティング、アクリル絵の具の使い方を学ぶ	アクリル絵の具を使用し ウイッグにペインティング 目標とする装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第5回	作品作成準備(1-2) ペインティング、マニキュアの使い方を学ぶ	マニキュアを使用し ウイッグにペインティング 目的とする装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第6回	作品作成準備(1-2) ペインティング、マニキュアの使い方を学ぶ	マニキュアを使用し ウイッグにペインティング 目標とする装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第7回	作品作成準備(1-2) ペインティング、マニキュアの使い方を学ぶ	マニキュアを使用し ウイッグにペインティング 目標とする装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第8回	作品作成準備(1-3) (機械的手法) エアブラシの 使い方を学ぶ	エアブラシの構造、特徴、使用 法を理解する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第9回	作品作成準備(1-3) (機械的手法) エアブラシの 使い方を学ぶ	エアブラシを使用しウイッグ にペインティング 目標とす る装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第10回	作品作成準備(1-3) (機械的手法) エアブラシの 使い方を学ぶ	エアブラシを使用しウイッグ にペインティング 目標とす る装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第11回	作品作成準備(1-3) (機械的手法) エアブラシの 使い方を学ぶ	エアブラシを使用しウイッグ にペインティング 目標とす る装飾を施す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第12回	作品制作準備(1-4) (造形的手法) 絵画、彫刻等 他の作品との融合を学ぶ	融合方法の実例から自らの作 品手法を考える。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第13回	作品制作準備(1-4) (造形的手法) 絵画、彫刻等 他の作品との融合を学ぶ	ウイッグと絵画、彫刻その単 の作品との融合を試す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第14回	作品制作準備(1-4) (造形的手法) 絵画、彫刻等 他の作品との融合を学ぶ	ウイッグと絵画、彫刻その単 の作品との融合を試す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第15回	作品制作準備(1-4) (造形的手法) 絵画、彫刻等 他の作品との融合を学ぶ	ウイッグと絵画、彫刻その単 の作品との融合を試す。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	装飾品、付属品作成実践 羽飾り・飾り櫛・イヤリング 他作り方を学ぶ	過去の作品からも装飾品、付属品のヒントを得、基本的な作り方取得する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第17回	装飾品、付属品作成実践 羽飾り・飾り櫛・イヤリング 他作り方を学ぶ	過去の作品からも装飾品、付属品のヒントを得、基本的な作り方取得する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第18回	装飾品、付属品作成実践 羽飾り・飾り櫛・イヤリング 他作り方を学ぶ	過去の作品からも装飾品、付属品のヒントを得、基本的な作り方取得する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第19回	作品テーマを考える(1) ＜自然＞樹木、草花からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第20回	作品テーマを考える(1) ＜自然＞樹木、草花からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第21回	作品テーマを考える(1) ＜自然＞樹木、草花からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第22回	作品テーマを考える(2) ＜自然現象＞風、波、虹からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第23回	作品テーマを考える(2) ＜自然現象＞風、波、虹からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第24回	作品テーマを考える(2) ＜自然現象＞風、波、虹からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第25回	作品テーマを考える(3) ＜人工物＞建造物、道具、その他からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第26回	作品テーマを考える(3) ＜人工物＞建造物、道具、その他からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第27回	作品テーマを考える(3) ＜人工物＞建造物、道具、その他からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第28回	作品テーマを考える(4) ＜陸上の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第29回	作品テーマを考える(4) ＜陸上の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第30回	作品テーマを考える(4) ＜陸上の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	作品テーマを考える(5) ＜水中の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第32回	作品テーマを考える(5) ＜水中の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第33回	作品テーマを考える(5) ＜水中の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第34回	作品テーマを考える(6) ＜空中の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第35回	作品テーマを考える(6) ＜空中の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第36回	作品テーマを考える(6) ＜空中の生物＞からイメージを学ぶ	作品例からイメージの具体化方法を理解し実践する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第37回	作品テーマ・イメージの決定	作品テーマの考え方から導いたテーマを具体化する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第38回	作品テーマ・イメージの決定	作品テーマの考え方から導いたテーマを具体化する。	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第39回	行程表作成	作品制作の為のスケジュールおぼび行程表作成	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第40回	試作品作成	テーマに沿った試作品を作る。(素材収集含む。)	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第41回	試作品作成	テーマに沿った試作品を作る。(素材収集含む。)	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第42回	試作品作成	テーマに沿った試作品を作る。(素材収集含む。)	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第43回	試作品作成	テーマに沿った試作品を作る。(素材収集含む。)	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第44回	試作品作成	テーマに沿った試作品を作る。(素材収集含む。)	授業内容をまとめ画像、映像などを用い記録しファイルする。自身の作品のヒントとなる事柄を収集する。
第45回	試作品完成チェック	発表形式によるチェックによる改善点の修正。	チェックで得た改善点を修正レポートにまとめる。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第46回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第47回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第48回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第49回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第50回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第51回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第52回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第53回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第54回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第55回	本作品作成	試作品から得られた修正点を踏まえ、作品を作る。	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第56回	本作品最終チェック	自身のイメージ通りに作品が完成しているか細部に亘りチェックする	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第57回	本作品最終チェック	自身のイメージ通りに作品が完成しているか細部に亘りチェックする	作品完成に至るまでの工程ををまとめ画像、映像などをうい記録しファイルする。
第58回	展示会の準備	場所の決定・梱包方法・運搬方法の判断・会場下見	完成作品梱包・会場下見・搬入経路確認
第59回	展示会場の準備	前日準備・会場設営・作品搬入	前日準備・会場設営・作品搬入
第60回	展示会	展示会場管理運営	会場撤収作業・来場者コメント整理、自身のファイルに加えて提出

科目名 Subject	メイクアップ研究 Make-up Studies		教員名	ティミー 西村 他	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	3
必修/選択	選択	授業形態	演習	時間	60
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	人間の表情の変化を学び、メイクアップによる喜怒哀楽の表現方法を学ぶ。TV、映画、PV撮影、ファッションショー、映像撮影、等の現場で使えるテクニックを各専門分野の教員が指導する。デモンストレーションによる展示または資料写真を参考に相モデルでメイクアップ作品を制作する。				
授業の目標	メイクアップアーティストに求められるテクニックと専門的な知識を身につける。全ての年代の女性を美しく見せるメイクアップが表現できる。目指すイメージを具体的にメイクアップで表現できる。人の表情をメイクアップで表現できる。				
時間外学習 (予習・復習)	各回の授業内容を身につけるために自宅で数回の練習が必要である。授業終了後には課題が出されることがあるため自宅でデッサンや、撮影した顔写真を指定された様式に添付し作品課題として提出する。また教員から次回の授業に向けた準備が指示されることがある。予習と復習、課題制作、撮影作品制作準備に必要な時間数は合計で約30時間である。				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	顔料、タオル、ティッシュ、コットン、綿棒。			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	作品制作50%、小課題25%、授業参加意欲25%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	提出課題は作品のデッサンと写真を提出してもらいます。やむを得ず欠席した場合は各自で作品制作を行い提出してください。				
本科履修と 関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	表情分析の基礎を学ぶ。	表情の変化とは何かを理解できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第2回	喜びの表情の特徴を学ぶ。	喜びの表情の特徴を理解する。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第3回	喜びの表情をメイクアップで表現する手法を学ぶ。	喜びの表情をメイクアップで表現できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第4回	喜びの表情をメイクアップで表現し、写真作品とする手法を学ぶ。	喜びの表情をメイクアップで表現、撮影し、作品として残すことができる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第5回	怒りの表情の特徴を学ぶ。	怒りの表情の特徴を理解する。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第6回	怒りの表情をメイクアップで表現する手法（理論）を学ぶ。	怒りの表情をメイクアップで表現する手法を理解できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第7回	怒りの表情をメイクアップで表現する手法（実践）を学ぶ。	怒りの表情をメイクアップで表現できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第8回	怒りの表情をメイクアップで表現し、写真作品とする手法を学ぶ。	怒りの表情をメイクアップで表現、撮影し、作品として残すことができる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第9回	哀しみの表情の特徴を学ぶ。	哀しみの表情の特徴を理解する。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第10回	哀しみの表情をメイクアップで表現する手法（理論）を学ぶ。	哀しみの表情をメイクアップで表現する手法を理解できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第11回	哀しみの表情をメイクアップで表現する手法（実践）を学ぶ。	哀しさの表情をメイクアップで表現できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第12回	哀しみの表情をメイクアップで表現し、写真作品とする手法を学ぶ。	哀しみの表情をメイクアップで表現、撮影し、作品として残すことができる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第13回	楽しさの表情の特徴を学ぶ。	楽しさの表情の特徴を理解する。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第14回	楽しさの表情をメイクアップで表現する手法（理論）を学ぶ。	楽しさの表情をメイクアップで表現する手法を理解できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第15回	楽しさの表情をメイクアップで表現する手法（実践）を学ぶ。	楽しさの表情をメイクアップで表現できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	哀しみの表情をメイクアップで表現し、写真作品とする手法を学ぶ。	楽しさの表情をメイクアップで表現、撮影し、作品として残すことができる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第17回	ファッションショーのトレンド全般を学ぶ（NY）。	ニューヨークのファッションショーで発表されたトレンドが理解できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第18回	ファッションショーのメイクアップトレンドを学ぶ（NY）。	ニューヨークのファッションショーで発表されたトレンドのメイクアップを表現できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第19回	ファッションショーのトレンド全般を学ぶ（ヨーロッパ）。	パリ、ロンドンのファッションショーで発表されたトレンドが理解できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第20回	ファッションショーのメイクアップトレンドを学ぶ（NY）。	パリ、ロンドンのファッションショーで発表されたトレンドのメイクアップを表現できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第21回	化粧品業界の動向を学ぶ。	トレンド、最新のメイクアップの表現方法を学ぶ。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第22回	最新化粧品のトレンドを学ぶ。	化粧品業界の動向、製品の開発、マーケティングを理解できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第23回	カラー理論を学ぶ。	パーソナルカラー、肌色に対して似合う色を選ぶことができる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第24回	カラー理論を使ったメイクアップカラーの提案法を学ぶ。	ファンデーション、リップ、チークの似合うカラーを選び、メイクアップを行い顔の違いを撮影する。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第25回	フェイシャルマッサージを学ぶ。	メイクアップ施術まえのフェイシャルマッサージを施術できる。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第26回	クイックチェンジを学ぶ。	短時間での化粧直しを行える。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第27回	美齢学に基づいたメイクアップ法を学ぶ。	高齢者に対するメイクアップが施術出来る。	講義内容を自宅で復習し、提出課題の制作を行う。
第28回	作品制作のコンセプト作りを学ぶ。	第29、30回で作品撮影をする為のコンセプトシート、デッサンを作成する。	事前に終了課題の制作コンセプトを考えてくる。
第29回	終了課題の作品制作を行う。	最終作品用のヘアメイクを行う。	リハーサルを行った終了課題の完成度を上げるための準備をしてくる。
第30回	終了制作の作品撮影を行う。	最終作品の撮影。	リハーサルを行った終了課題の完成度を上げるための準備をしてくる。

科目名 Subject	批評概論 Introduction to Criticism		教員名	伊藤 淳	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	3
必修/選択	選択	授業形態	講義	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	<p>インターネットの登場で、日々、世界中に大量の情報が溢れています。入手した情報をどのように解釈し、その価値を自らの判断で処理するかは現代社会に生きる我々にとって大きな課題となっています。</p> <p>例えば、ある作品を見た時、人は様々な感じ方をします。それを相手に伝えるのに感情におもむくまま表現する方法がある一方、客観的な視点から評価する方法があります。講義ではその両方の立場で自由に考えて、様々な分野の情報を取り上げながら批評能力を高めていきます。</p> <p>授業形式として効率よく学習するために、最初に配布資料を読んだ上で、その資料に関する内容をプロジェクター映像で見ていき、お互いの意見を交換します。</p> <p>またこの授業と併せて「日本・東洋美術史」や「西洋美術史」を受講し、美術における情報の扱い方を学ぶことが望ましい。</p>				
授業の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人にとって情報とは何かを理解することができる。 2. 他者に自分の意見を客観的に伝える能力を修得できる。 3. デジタル情報の注意点を見分ける能力を高めることができる。 4. ファッションや広告デザインにおける情報を汲み取ることができる。 5. 絵画作品などにおける隠れた情報を探る能力を高めることができる。 				
時間外学習 (予習・復習)	<p>(予習) 次回の授業内容に関わる専門書や映像などを調べて、その内容を把握すること。また日頃から文字情報とデジタル情報の違いに注意し、多角的な目で物事に接すること (10.5時間)</p> <p>(復習) 授業で行われた内容を自分なりに整理し、その後、検証してみることに。(10.5時間)</p>				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	なし			
	使用設備・備品	プロジェクター			
	参考文献	「時代の目撃者」P. パーク 中央公論美術出版 2007年			
評価方法	授業における発言などの学習意欲(50%)、レポート課題(50%)で総合的に判断します。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	毎回、筆記用具は必需品です。				
本科目履修と関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	批評とは何か	批評概念の内容を理解する。	(予習) 情報を多角的に収集する。(45分) (復習) デジタル情報と文字情報を比較する。(45分)
第2回	広告批評①広告の歴史を学ぶ	商業広告の多様性を知り、幅広い年齢層の美を理解する。	(予習) 写真の歴史を調べてくること。(45分) (復習) 新聞各社の同じ記事を比較する。(45分)
第3回	広告批評②海外の広告情報を学ぶ	商業広告の多様性を知り、幅広い年齢層の美を理解する。	(予習) 海外の電化製品を調べてくること。(45分) (復習) 同業他社の広告を比較する。(45分)
第4回	広告批評③日本の広告情報を学ぶ	商業広告の多様性を知り、幅広い年齢層の美を理解する。	(予習) 日本の電化製品を調べてくること。(45分) (復習) 同業他社の広告を比較する。(45分)
第5回	名画の背景を探る①ポッティチェリ「春」を学ぶ	名画の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) ポッティチェリを調べてくること。(45分) (復習) 寓意画の持物を確認する。(45分)
第6回	名画の背景を探る②レオナルド「最後の晚餐」を学ぶ	名画の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) レオナルドを調べてくること。(45分) (復習) 寓意画の持物を確認する。(45分)
第7回	名画の背景を探る③ラファエッロ「アテネの学堂」を学ぶ	名画の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) ラファエッロを調べてくること。(45分) (復習) 寓意画の持物を確認する。(45分)
第8回	歴史的なファッションを批評する①古代の服飾を学ぶ	服飾の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) 古代ファッションを調べてくること。(45分) (復習) 古代の生活を確認する。(45分)
第9回	歴史的なファッションを批評する②ルネサンスの服飾を学ぶ	服飾の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) ルネサンスの服飾を調べてくること。(45分) (復習) ルネサンスの生活を確認する。(45分)
第10回	歴史的なファッションを批評する③ロココ時代の服飾を学ぶ	服飾の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) ロココ時代の服飾を調べてくること。(45分) (復習) ロココ時代の生活を確認する。(45分)
第11回	歴史的なヘアスタイルを批評する①古代の髪型を学ぶ	髪型の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) 古代の髪型を調べてくること。(45分) (復習) 古代の生活を確認する。(45分)
第12回	歴史的なヘアスタイルを批評する②ルネサンスの髪型を学ぶ	髪型の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) ルネサンスの髪型を調べてくること。(45分) (復習) ルネサンスの生活を確認する。(45分)
第13回	歴史的なヘアスタイルを批評する③ロココ時代の髪型を学ぶ	髪型の美を感じながら、その歴史的背景を理解する。	(予習) ロココ時代の髪型を調べてくること。(45分) (復習) ロココ時代の生活を確認する。(45分)
第14回	現代のヘアスタイルを批評する	現代の髪型の流行を感じながら、その長所と短所を理解する。	(予習) 現代の髪型の流行を調べてくること。(45分) (復習) 現代の髪型の多様性を確認する。(45分)
第15回	批評の発表	他者に作品・物事の批評を伝えることができる。	(予習) 批評発表のリハーサルをしてくること。(45分) (復習) 発表内容を検証する。(45分)

科目名 Subject	描画技法 Art & Design		教員名	栗本 佳典	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	4
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	対象物の形や構造、明暗を正確にとらえる方法を学び、描いた物と対象物を比較しながら根気強く描写することにより、目と脳と手の総合的なトレーニングを行います。				
授業の目標	物体や人体の形を、先入観にとらわれることなく客観的にとらえ表現する力を高めるとともに、常に全体を意識しながら部分とのプロポーションを見る力を身につける。また、デッサン力を高め頭の中のイメージを具体的に表現する力も身につける。				
時間外学習 (予習・復習)	身近な物をモチーフにしてデッサンを行い、観察力と描写力を日常的に訓練してください。2週間に1枚程度のデッサンを行って行ってください。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	デッサン室			
	参考文献				
評価方法	技法の理解度20% 課題に取り組む姿勢50% 課題作品の完成度30%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意					
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	建築デッサン①	建築物の構造や遠近感を捉える力を養う。	
第2回	建築デッサン②	建築物の構造や遠近感を捉え表現できる力を身につける。	
第3回	石膏デッサン①	顔の形、パーツ、体との関係、立体感、明暗などを総合的に捉える方法を確認する。	
第4回	石膏デッサン②	顔の形、パーツ、体との関係、立体感、明暗などを総合的に表現出来るようになる。	
第5回	石膏デッサン②	顔の形、パーツ、体との関係、立体感、明暗などを総合的に表現出来るようになる。	
第6回	石膏デッサン②	顔の形、パーツ、体との関係、立体感、明暗などを総合的に表現出来るようになる。	
第7回	細密描写	物をしっかりと観察し、明暗や色を精密に描くことで、写実的な表現が出来るようになる。	
第8回	細密描写	物をしっかりと観察し、明暗や色を精密に描くことで、写実的な表現が出来るようになる。	
第9回	人物クロッキー	人物の形や動きを短い時間にとらえ、表現する力を身につける。	
第10回	人物クロッキー	人物の形や動きを短い時間にとらえ、表現する力を身につける。	
第11回	スクラッチ画①	物体の明暗を、黒い画面を削って表現する方法を知る。	
第12回	スクラッチ画②	黒い画面を削って表現することにより、面と光の関係を知り表現の幅を広げる。	
第13回	スクラッチ画②	黒い画面を削って表現することにより、面と光の関係を知り表現の幅を広げる。	
第14回	スクラッチ画②	黒い画面を削って表現することにより、面と光の関係を知り表現の幅を広げる。	
第15回	講評会	互いの作品について批評し合うことで、見る力、伝える力を養う。	

科目名 Subject	修了研究 Graduation Thesis		教員名	栗本 佳典・大須賀	
開講年次	2	開講時期	通年	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	120
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	立体造形演習Ⅰ・Ⅱの総まとめとして、各自で表現したい作品のテーマや内容を決める。教員指導の元で年間の計画を立て、作成したい立体造形作品・ポートフォリオ（授業時の課題等の作品集）・作品制作ノート（作品制作過程の進行状況や使用道具・機材等の説明集）を作り上げていく。				
授業の目標	今までに学んだ立体造形全般についての知識・技法・表現法を基に、自由な発想と個性的な視野でテーマと内容を決める。年間の進行計画や必要な予算、使用機材や素材等を検討し工夫しながら作品制作を進める。美的感性・創造力をさらに高めつつ学習の集大成として作品制作をしながら、物を作りあげていく喜びや楽しさを体験する。芸術学士資格取得に十分な高い内容の作品を指定の期日までに完成する。				
時間外学習 （予習・復習）	修了研究は申請の作品完成期日があり、授業のほかにも時間外学習が必須である。90分～120分の予習復習を授業毎に行ない、内容はその都度指示する。美術の展覧会や美術系大学の卒業制作展を多く見ること。				
教科書・教材	教科書	教員作成の資料やプリントを必要に応じ配布する。			
	教材	個人で使うものは自己負担。			
	使用設備・備品	必要に応じ木工室の備品や工具を使用。			
	参考文献	修了研究のテーマ、内容に必要な場合は指示。			
評価方法	調査・計画・熱意・工夫など制作過程40% 完成作品40% ポートフォリオと作品制作ノート作成20%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
履修上の注意	写真焼き増し代・自己負担の材料・申請費等必要。計画的な費用の管理をする。				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	修了研究ガイダンス(1)		
第2回	修了研究ガイダンス(1)	修了研究の内容や学位取得授業の行い方や流れを知る。作品を見、自分のテーマを決める参考とする。	予習復習・造形作品を多く見て取り組みたい自身のテーマをできるだけ明確にする。(120分)
第3回	修了研究ガイダンス(2)		
第4回	修了研究ガイダンス(2)	指導教員のアドバイスを参考にテーマやその内容、形をできる限りイメージしながら描く。	予習(90分)復習(120分)・作りたい作品のラフデッサンを複数描く。大きさ・素材をイメージする。
第5回	修了研究の構想(1)		
第6回	修了研究の構想(1)	テーマと内容の最終決定をする。制作の年間計画を立てる。形や大きさを決める為のデッサンを描く。	予習(120分)復習(120分)・テーマを決める。大きさを換え、変形したりし深い表現法を考える。
第7回	修了研究のエスキース・小品(1)		
第8回	修了研究のエスキース・小品(1)	テーマに合った小品を複数作成する。大きさや素材の変化が形に及ぼす影響・効果を体験する。	予習(120分)復習(120分)・最初の小作品の構想を決める。大きさ、素材、使用工具道具彩色効果等考える。
第9回	修了研究エスキース・小品(2)		
第10回	修了研究エスキース・小品(2)	テーマに沿った小品を複数作成する。異なる素材で同じ形を作るなど工夫をする。	予習(120分)復習(120分)・他の小品の構想を決める。大きさ、素材、彩色効果等考え工夫をする
第11回	修了研究エスキース・小品(3)		
第12回	修了研究エスキース・小品(3)	テーマに沿った小品を複数作ることで、造形の巾広さや応用の面白さを体験する。	予習(120分)復習(120分)・小品を完成する工程や手順を見直す。新しいアイデアがあれば取り入れる。
第13回	修了研究エスキース・小品(4)		
第14回	修了研究エスキース・小品(4)	すべての小品を仕上げる。完成した複数の小品の中から、大きな作品制作の参考になるものを決める。	予習(120分)復習(120分)小作品の写真撮影。作品ノートに用いる為に、使用した素材等も記録する。
第15回	修了研究制作開始(1)		

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	修了研究制作開始(1)	小品を元に作品サイズ、素材の選別、制作のスケジュール等を教員とともに検討する。	予習復習・制作する作品をイメージし、形を変化させたり、さまざまな作品のデッサンを描く。(120分)
第17回	修了研究制作開始(2)		
第18回	修了研究制作開始(2)	作品のイメージを明確にする為写真・書籍等を参考に構想を決め実寸大のデッサンを描く。	予習復習・作品の形デザインを決定し制作場所の準備や使用素材や道具等を用意する。(120分)
第19回	修了研究制作開始(3)		
第20回	修了研究制作開始(3)	作品の基礎部分を作る。全体をイメージしながら、しっかりした土台になるよう工夫する。	予習・必要な素材をそろえ使う道具や工具の使用法を調べる(120分)復習・作品の基礎部分を仕上げる。(120分)
第21回	修了研究制作開始(4)		
第22回	修了研究制作開始(4)	これまで学んだ造形の知識・技術・表現力・美的感性を最大限発揮し応用し工夫する。	予習(120分)復習(120分)・教員のアドバイスを、授業の体験を元に取り入れ進めていく
第23回	修了研究制作開始(5)		
第24回	修了研究制作開始(5)	学位取得合格レベルの作品になるように、作品の見直しや状況を調べ完成の準備をする。	予習(120分)復習(120分)・教員のアドバイスを制作に取り入れながら合格レベルの内容に進める。
第25回	修了研究制作完成(6)		予習(120分)復習(120分)・教員のアドバイスを元に質の高い作品になるよう進めていく
第26回	修了研究制作完成(6)	作品の完成をめざし、色の塗り斑や不要なものがないか等、全体を見直し仕上げる。	
第27回	修了研究作品撮影(7)		
第28回	修了研究作品撮影(7)	撮影の場所設定や作品の移動等の準備確認をし、提出用の完成作品を撮影する。	予習・撮影の場所やカメラ等機材準備(90分)復習・撮影後、サイズを確認し必要数の写真を作成する。(120分)
第29回	修了研究作品の提出書類・資料等作成(1)		
第30回	修了研究作品の提出書類・資料等作成(1)	提出する書類の記入や、必要資料の確認を不備のないよう注意しながら進める。	予習復習・提出書類や資料の不備がないか、見直し確認を注意しながら行なう。(120分)

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	修了研究 作品・面接用資料作成等の説明(1)		
第32回	修了研究 作品・面接資料作成等の説明(1)	面接の意味や心構え等の現場状況を知る。さらに学士取得申請全般について、再確認する。	予習(90分)復習(90分)・制作現場の清掃、道具等後始末をし、次の研究場所を用意。作品の安全な保管の準備。
第33回	修了研究 作品・面接資料作成等の説明(2)		
第34回	修了研究 作品・面接資料作成等の説明(2)	先輩の作例を見、作品制作ノートの具体的な作成方法を知る。効果的な作成スケジュールを工夫する。	予習(90分)制作ノートに向くファイル等を探し用意する。復習(90分)ファイルの表紙・見出しデザインを考える
第35回	修了研究 作品制作ノート作成(1)		
第36回	修了研究 作品制作ノート作成(1)	制作の工程をふりかえり、工程が進む度に撮影をした写真の有無や枚数の確認をする。	予習(120分)制作工程を撮影した写真を準備する。復習(120分)制作工程未撮影写真の洗い出しと確認をする。
第37回	修了研究 作品制作ノート作成(2)		
第38回	修了研究 作品制作ノート作成(2)	制作工程が写真提示により理解されるよう、制作時を思い出し写真の順序を決める。	予習(120分)工程説明に必要な不鮮明や、不足分の写真撮影。復習(120分)必要写真の数を確認、用意する。
第39回	修了研究 作品制作ノート作成(3)		
第40回	修了研究 作品制作ノート作成(3)	工程のすべての写真を、制作時を思い出しながら順番にファイルに並べる作業を行なう。	予習(120分)制作工程写真のそれぞれの説明文を考える。復習(120分)使用した工具の名と説明を考える。
第41回	修了研究 作品制作ノート作成(4)		
第42回	修了研究 作品制作ノート作成(4)	工程写真の順序に沿って説明と使用道具・工具の名称を記入する。	予習(120分)説明文や見出し、工具名のパソコン入力。復習(90分)正確な文字や名称のみなおしと確認。
第43回	修了研究 作品制作ノート作成(5)		
第44回	修了研究 作品制作ノート作成(5)	パソコン作成の説明や名称をファイルに写真と共に間違いのないように貼りつける作業をする。	予習(120分)作品ノートの表紙・裏表紙等、デザインを元に作成。復習(120分)デザインの彩色や仕上げ完成。
第45回	修了研究 作品制作ノート完成(6)		

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第46回	修了研究 作品制作ノート完成(6)	ファイル全体を見直し、工程・写真・名称・説明等の間違いや誤字の点検をする。	予習(90分) ファイル全体の総点検をする。復習(90分) ポートフォリオに最適なファイルを複数準備する。
第47回	ポートフォリオについて説明 (1)		
第48回	ポートフォリオについて説明 (1)	ポートフォリオの意味と目的を知り、先輩の作例を見る。今までの授業課題制作の大切さを知る。	予習(90分) 履修した美術系授業を確認、作成課題を書きだす。復習(90分) 授業と作成課題全ての書きだし・確認。
第49回	ポートフォリオ作成 (2)		
第50回	ポートフォリオ作成 (2)	美術系の科目で作成した自分の作品を全て手元にそろえ、授業と作品の有無を調べる。	予習(120分) 手元のない自身の作品の所在を調べる。復習(90分) 全ての作品を手元に集める。
第51回	ポートフォリオ作成 (3)		
第52回	ポートフォリオ作成 (3)	教科ごとの課題について、そのタイトル・テーマ・説明等ができる限り思い出し書く。	予習(90分) 復習(120分) 科目ごとの課題作品のサイズ・素材・説明等を書きだす。
第53回	ポートフォリオ作成 (4)		
第54回	ポートフォリオ作成 (4)	教科ごとに作品をファイルに入れていく。制作順にする。ファイルに入らない作品は除く。	予習(90分) 復習(120分) ファイルに入らない作品の撮影をする。サイズを統一し色彩効果のある写真を用意する。
第55回	ポートフォリオ作成 (5)		
第56回	ポートフォリオ作成 (5)	ポートフォリオの表紙・裏表紙・見出し・文字等の作品写真が引き立つ美的デザインを計画、作成する。	予習(90分) ポートフォリオのデザイン構想をする。復習(120分) パソコン入力等利用し美的なデザインを仕上げる。
第57回	ポートフォリオ完成 (6)		
第58回	ポートフォリオ完成 (6)	教科別作品の順序・作品名・サイズ・文字の記入もれや間違い等、全体の見直しと点検をする。	予習(90分) 復習(90分) ポートフォリオ完成をめざし最後の見直しをする。面接時持参の他の資料も確認する。
第59回	修了研究 の 講評 (1)		
第60回	修了研究 の 講評 (1)	作成上の創意工夫・表現法・工程・計画・応用性・注意点等、作品を見直し、評価する。	予習(90分) 修了研究に授業が役に立ったか確認。復習(90分) 美術体験を美容人生に応用する方法を考える。

科目名 Subject	修了研究 Graduation Thesis		教員名	栗本 佳典・大須賀	
開講年次	2	開講時期	通年	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	120
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	<p>平面作品、立体作品、デザイン作品、CG作品、写真作品、論文（レポート）のいずれかを各自が選択し、学位にふさわしい内容となるよう時間をかけて研究し、作成してください。学位にふさわしい成果でなくてはならないことを常に意識することが大切です。</p>				
授業の目標	<p>漫然と制作・執筆するのではなく、自ら起案し研究計画の立案を経て、制作・執筆することができる能力を身につける。 また、制作・執筆中もその過程を記録するための資料を作成し、自己の成果を振り返る力を身につける。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>授業時間以外にも、週に2時間以上は課題の制作・執筆を行ってください。</p>				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	制作・執筆に必要な画材・資料等			
	使用設備・備品	アトリエ			
	参考文献				
評価方法	<p>テーマの設定20% 課題に取り組む姿勢40% 課題の完成度40%</p>				
	<p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
履修上の注意	<p>材料費、資料代、印刷費等は個人負担です。</p>				
本科目履修と 関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション ディスカッション	修了研究としての制作・執筆であることを理解する。	
第2回	オリエンテーション ディスカッション	修了研究としての制作・執筆であることを理解する。	
第3回	課題内容、テーマを絞り込む	テーマについて深く考え、自分の中で磨き上げていく必要があるということを理解する。	
第4回	課題内容、テーマを絞り込む	テーマについて深く考え、自分の中で磨き上げていく必要があるということを理解する。	
第5回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第6回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第7回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第8回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第9回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第10回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第11回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第12回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第13回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第14回	制作・執筆 ディスカッション	定めたテーマを意識しながら制作・執筆することが出来るようになる。	
第15回	中間発表	この時点での成果を発表することで、自分の現状を知る。また、今後の方向性を再確認する。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	中間発表	この時点での成果を発表することで、自分の現状を知る。また、今後の方向性を再確認する。	
第17回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第18回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第19回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第20回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第21回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第22回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第23回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第24回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第25回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第26回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第27回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第28回	制作・執筆 ディスカッション	各自、到達目標を設定しながら作業を進めることで、計画的な制作・執筆が出来るようになる。	
第29回	前期最終発表	夏休み前の成果を発表することで自分の現状を知る。また、これにより今後の方向性を再確認する。	
第30回	前期最終発表	夏休み前の成果を発表することで自分の現状を知る。また、これにより今後の方向性を再確認する。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	完成に向けて仕上げていく	妥協することなく、より完成度の高いものを目指し、物事を深く捉えることの重要性を知る。	
第32回	完成に向けて仕上げていく	妥協することなく、より完成度の高いものを目指し、物事を深く捉えることの重要性を知る。	
第33回	完成に向けて仕上げていく	妥協することなく、より完成度の高いものを目指し、物事を深く捉えることの重要性を知る。	
第34回	完成に向けて仕上げていく	妥協することなく、より完成度の高いものを目指し、物事を深く捉えることの重要性を知る。	
第35回	学位面接・試験を想定した講習会	面接・試験で質問される内容を想定し、自分の研究内容について明確に説明することが出来るようになる。	
第36回	学位面接・試験を想定した講習会	面接・試験で質問される内容を想定し、自分の研究内容について明確に説明することが出来るようになる。	
第37回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第38回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第39回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第40回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第41回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第42回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第43回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第44回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第45回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第46回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第47回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第48回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第49回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第50回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第51回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第52回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第53回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第54回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第55回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第56回	学位面接・試験に向けて制作ノートやポートフォリオ、関係資料を作成	自分の考えや作品を他人に伝えるためにはどのようにすべきかを知り、実践できるようになる。	
第57回	学位面接・試験の報告	質問事項を報告し、受け答えの問題点や改善点を知り、今後の活動に活かせるようになる。	
第58回	学位面接・試験の報告	質問事項を報告し、受け答えの問題点や改善点を知り、今後の活動に活かせるようになる。	
第59回	学位面接・試験の報告	質問事項を報告し、受け答えの問題点や改善点を知り、今後の活動に活かせるようになる。	
第60回	学位面接・試験の報告	質問事項を報告し、受け答えの問題点や改善点を知り、今後の活動に活かせるようになる。	

科目名 Subject	美容福祉演習 Aesthetics and Welfare Practice		教員名	佐野 恵美子	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	8
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
科目の概要	<p>福祉美容演習で学んだ、さまざまな人の「美しく齢を重ねたい」「自分らしく生きたい」という生き方の想いに応えるために、美容師が美道5大原則（髪、顔、装い、精神美、健康美）の観点から、全ての人々を対象に、より質の高い豊かな生活をサポートできる美齡の取り組みについて学ぶ。（美容福祉と美齡の意義と目的について理解する）</p> <p>一人一人の生命の安心安全を尽くすためには本人と本人に関わる家族、福祉専門職者、医療専門職者等との連携による情報の共有が不可欠となる。それぞれとの関わりや連携の進め方について多様性をもって理解する</p> <p>一人一人の生き方、価値観を尊重し、現在抱えている課題や地域社会の問題にも理解を深め、どのような状況下においても、ホスピタリティの精神で希望に応えられる美容を提供できる環境を整えるスキルを養う。</p>				
授業の目標	<p>全ての人々が「美しく齢を重ねたい」「自分らしく生きたい」を体験できる社会を目指すために、美容師は一人一人の美容ニーズに対して本人の情報（本人と本人に関わる家族、福祉専門職者、医療専門職者などとの連携によるもの）、形態別美容の技術、美容福祉道具と美容商材、衛生面の管理などの準備を整えて施術に臨む事が求められる。その取り組みについて外部実習を通して理解する。本人の安心安全と喜びを提供するために、観察力や洞察力を深め問題点を発見→分析→決定→実践→振り返りまでのプロセスを養う。美容福祉・美齡の観点から支援や介護が必要とされている人にも、自立した元気な高齢者にも最後まで一人の人間として「美しく豊かに生きる」という生き方をサポートできる美容師になる事を目標とする。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>予習 授業に関連する書物や新聞、ニュースなどにも関心を広げ、日々人や社会が抱えている問題点を挙げる。問題解決に向け美齡の観点から関われることは何か具体的に考えをレポートにまとめる。</p> <p>復習 授業で配布した資料や書物を繰り返し熟読し内容について正しく理解する。いろいろな活動等にも積極的に参加して多くの人との出会いやコミュニケーションにより相手の心に触れる体験をする 毎回 予習 30分 復習 30分とする</p>				
教科書・教材	教科書	教員作成資料、配布プリント			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	山野正義「生きるほどに美しく」、「ジェロントロジー」			
評価方法	<p>・積極的な参加態度 ・外部実習での観察力、洞察力、問題点を発見→分析→決定→実践→振り返りまでの取り組み ・レポートの内容 を総合して評価 平常点 20% 小課題 30% レポート 50%とする</p>				
	<p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
履修上の注意	<p>積極的かつ主体的に授業に参加すること。常に問題意識を持つ姿勢で臨み、具体的な自分の意見をもつこと。疑問に思うことや気づきについては、その都度メモを取り、授業内で解決する</p>				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	美道五大原則（髪・顔・装い・精神美・健康美）を基に、美容福祉と美齢の意味と目的について学ぶ	その人らしく美しく豊かに生きる事を実現しサポートするために美容福祉と美齢の関連性を理解できる	予習 美容福祉とは何か理解しておく。復習 人々が抱えている美容に関する問題点を1つ挙げレポートにまとめる
第2回	人生の終末期に向かう人に対して求められる美齢の取り組みについて学ぶ	事例からグリーンケアとラストメイクの施術方法が理解できる。美齢の取り組みの意味を理解できる。	予習 「マズローの欲求5段階説」を理解しておく。復習 美齢による取り組みの意味についてレポートにまとめる
第3回	対象者理解 「百はたち年表の作成」その意味と美容サービスに繋げる活用方法について学ぶ	現在・未来をその人らしく美しく生きるために、その人の過去の生活歴を知ることの意味が理解できる	予習 今日までの生活歴をレポートにまとめる。復習 百はたち年表を作成し美容に繋がる活用方法をレポートにまとめる
第4回	安心・安全に美容サービスを提供するために必要な取り組みについて学ぶ	1. 帳票類の作成 2. 医療職・福祉職・家族・地域社会との連携の仕方 の必要性が理解できる	予習 「ジョハリの窓」について理解しておく。復習 美容が社会や人々に及ぼす影響についてレポートにまとめる
第5回	美容講座による健康づくりについて段階的アプローチが対象者にもたらす影響について学ぶ	美容講座→ファッション→外出→体操、一人称から三人称までの健康づくりの展開の意味を理解できる	予習 美容講座と健康の関わりについてレポートにまとめる。復習 美容講座のメニューを2つ挙げ目的と方法をまとめる
第6回	訪問美容実習 事前準備 その1 在宅への訪問美容	帳票類の作成 本人、本人の家族、医療&福祉関係者からの情報収集の必要性和施術方法が理解できる	予習 自分の帳票類を作成する。復習 対象者の帳票類を基に施術方法や関わり方についてレポートにまとめる
第7回	課題 カット&パーマ	本人が抱える問題に寄り添いながらニーズに対して的確な接遇と施術ができる	予習 帳票を基に施術方法の選択、美容道具、パーマ液、消毒液等準備する。復習 取り組みを振り返りレポートにまとめる
第8回	訪問美容実習 事前準備 その2 高齢者施設への訪問美容	帳票類の作成 本人、本人の家族、医療&福祉関係者からの情報収集の必要性和施術方法が理解できる	予習 高齢者の身体的特徴を理解する。復習 対象者の帳票類を基に施術方法や関わり方についてレポートにまとめる
第9回	課題 カット&セット	施設側担当職員との連携により本人が望むニーズに対して的確な接遇と施術ができる	予習 帳票を基に施術方法の選択、美容道具、消毒液等準備する。復習 取り組みを振り返りレポートにまとめる
第10回	訪問美容実習 訪問美容1・2の振り返り	実習を通して培われた観察力、洞察力で美容が対象者の心身に及ぼす影響、変化等について分析できる	予習 訪問美容実習の意義と目的について理解する。復習 訪問美容による社会的影響についてレポートにまとめる
第11回	訪問美容実習 事前準備 その3 重症心身障がい者施設への訪問美容	帳票類の作成 本人、本人の家族、医療&福祉関係者からの情報収集の必要性和施術方法が理解できる	予習 障がいの特徴を理解する。復習 対象者の帳票類を基に施術方法や関わり方についてレポートにまとめる
第12回	課題 カット&ブロー	施設側担当職員との連携により本人が望むニーズに対して的確な接遇と施術ができる	予習 帳票を基に施術方法の選択、美容道具、消毒液等準備する。復習 取り組みを振り返り、レポートにまとめる
第13回	訪問美容実習 事前準備 その4 障がい者センターへの訪問美容	帳票類の作成 本人、本人の家族、医療&福祉関係者からの情報収集の必要性和施術方法が理解できる	予習 障がいの特徴を理解する。復習 対象者の帳票類を基に施術方法や関わり方についてレポートにまとめる
第14回	課題 スキンケアアクティビティ	施設側担当職員との連携により、グループを対象に的確な接遇と施術方法でアクティビティができる	予習 アクティビティの意義と目的を理解する。復習 アクティビティのメニューを2つ挙げ目的と方法をまとめる
第15回	今後の美容福祉の対人的&社会的役割、あり方について総合的に考察し、美齢に繋がる	レポートをまとめ、発表し、自分の考察を他者へ主張することができる	予習 授業を通して美容福祉と美齢の繋がりを理解する。復習 美齢の取り組みについて1つ挙げレポー

考えを発表する

トにまとめる

科目名 Subject	インターンシップA Internship A		教員名	長谷川	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修/選択	選択	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	<p>インターンシップの意味や目的、社会常識やコミュニケーションスキルについて事前準備を行い、実践に臨みます。</p> <p>一定期間、美容関係またはデザイン関係の企業で仕事を体験することにより、社会人として働くとはどういうことか、社会人として必要な心構えや現場で必要となる知識、技術はどのようなものかについて学びます。</p> <p>インターンシップ終了後は、学んだ成果等について、反省、報告を行います。</p>				
授業の目標	<p>企業等での現場体験を通して社会を知り、社会人として必要な知識や技術を学ぶ。</p> <p>ホスピタリティやコミュニケーション能力を高める。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>インターンシップ期間中の日々の記録を反省点改善点感想等を加えてレポートにする。</p> <p>このレポート作成については60分～90分程度の時間を要することを想定しています</p>				
教科書・教材	教科書	無し			
	教材	無し			
	使用設備・備品	無し			
	参考文献	無し			
評価方法	<p>研修への取組み姿勢、およびインターン先の評価80% インターンシップ記録20%</p>				
	<p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
履修上の注意	<p>可能な限り毎日担当教員と連絡を取ります。これは状況確認の意味もあります。</p>				
本科履修と 関連する資格	資格名	無し			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション	インターンシップの意義を理解する	説明内容をレポートにまとめる
第2回	事前教育1	社会人常識について学び、研究する	
第3回	事前教育2	社会人常識について学び、研究する	
第4回	事前教育3	事前に企業研究を行い、インターンシップ先について理解する	企業情報をファイリングする
第5回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第6回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第7回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第8回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第9回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第10回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第11回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第12回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第13回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第14回	インターンシップ終了	経験したことを再度確認・精査し、今後の学習に活かす	報告に向け資料を作成する
第15回	インターンシップ報告会	自分の経験を発表することでプレゼンテーション等の知識、技術を身につける	反省点、改善点をまとめて一つの形にする。

科目名 Subject	インターンシップB Internship B		教員名	長谷川	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2
必修/選択	選択	授業形態	演習	時間	30
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーションカ
科目の概要	<p>インターンシップの意味や目的、社会常識やコミュニケーションスキルについて事前準備を行い、実践に臨みます。一定期間、美容関係またはデザイン関係の企業等で仕事を体験することにより、社会人として働くとはどういうことか、社会人として必要な心構えや現場で必要となる知識、技術はどのようなものかについて学びます。インターンシップ終了後は、学んだ成果等について、反省、報告を行います。</p> <p>*インターンシップAを履修した場合は、その経験を活かし、自分に足りない部分などの分析を行い、インターンシップに臨みます。</p>				
授業の目標	<p>企業等での現場体験を通して社会を知り、社会人として必要な知識や技術を学ぶ。ホスピタリティやコミュニケーション能力を高める。</p> <p>*インターンシップAを履修した場合は、知識や技術、能力をよりレベルアップする。また、それぞれの企業の特徴や違いを知り、視野を広げる。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>インターンシップ期間中の日々の記録を反省点改善点感想等を加えてレポートにする。レポート作成については毎回60分～90分程度の時間を要することを想定しています。</p>				
教科書・教材	教科書	無し			
	教材	無し			
	使用設備・備品	無し			
	参考文献	無し			
評価方法	<p>研修への取組み姿勢、およびインターン先の評価80% インターンシップ記録20%</p>				
	<p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
履修上の注意	<p>毎日可能な限り担当教員とメール等で連絡を取ります。これは状況確認の意味も有ります。</p>				
本科履修と 関連する資格	資格名	無し			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション	インターンシップの意義を確認する	説明内容をレポートにまとめる
第2回	事前教育1	社会人常識について学び、研究する	
第3回	事前教育2	社会人常識について学び、研究する	
第4回	事前教育3	事前に企業研究を行い、インターンシップ先について理解する。	企業情報をファイリングする
第5回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第6回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第7回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第8回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第9回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第10回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第11回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第12回	インターンシップ	目標を持って日々の業務に取り組み、仕事の理解を深める	
第13回	インターンシップ最終日	目標の達成度を確認しながら仕上げの業務に取り組む	
第14回	インターンシップのまとめ	経験したことを再度確認・精査し、今後の学習に活かす	報告に向け資料を作成する
第15回	インターンシップ報告	自分の経験を発表することでプレゼンテーション等の知識、技術を身につける	反省点、改善点をまとめて一つの形にする

